新潟市
教育振興基本計画
～にいがた学びのコンパス～
（前期実施計画）

（令和８年７月改訂）

令和７年３月

新潟市教育委員会

【 目 次 】

Ⅰ 計画の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １
１ 実施計画とは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １
２ 構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １
３ 対象範囲 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １
４ 期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １

Ⅱ 施策体系 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １

Ⅲ 基本構想 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２

Ⅳ 基本計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２

Ⅴ 施策指標、取組指標について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
１ 施策指標、取組指標、施策別計画の見方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
２ 施策指標、取組指標一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５

Ⅵ 実施計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９
１ 前期実施計画体系図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９
基本施策１ 生涯学び続け、学びをいかし活躍できる機会の充実と支援・ ・・１３
基本施策２ 確かな学力の育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
基本施策３ キャリア教育の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
基本施策４ 体力づくり・健康づくり・食育の推進・・・・・・・・・・・・・１９
基本施策５ 人権を尊重し、多様性を認め合う心の育成・・・・・・・・・・・２１
基本施策６ 誰一人取り残さない、一人一人の可能性を引き出す教育の推進・・２３
基本施策７ 創造性に富み、世界とともに生きる力の育成・・・・・・・・・・２５
基本施策８ いのちの教育・心の教育の推進・・・・・・・・・・・・・・・・２７
基本施策９ 地域、学校、民間企業、家庭の連携・協働の推進・・・・・・・・２９
基本施策１０ 郷土の歴史・文化に親しむ教育の推進・・・・・・・・・・・・３３
基本施策１１ 家庭教育の充実と子育て支援の充実・・・・・・・・・・・・・３５
基本施策１２ 安心・安全で質の高い教育環境の整備・充実・・・・・・・・・３７
基本施策１３ 教育ＤＸの推進とＩＣＴ環境の整備・充実・・・・・・・・・・４１
基本施策１４ 職員・教員の資質・能力の向上と支援体制の充実・・・・・・・４３

Ⅶ 資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
１ 用語集 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
２ 取組指標一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５１

新潟市教育振興基本計画の愛称について
「にいがた学びのコンパス」という愛称の「新潟」をひらがなで表記することで「柔軟性」を表現しています。「学びのコンパス」は、本市における、生まれてから一生涯の市民の学びの羅針盤（方向性）を意味しています。ひらがな、漢字、カタカナを混在した表記とすることで多様性を表現しています。

Ⅰ　計画の概要

１　実施計画とは

実施計画は、新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～（以下、新潟市教育振興基本計画）に掲げる新潟市の教育が目指す人間像「しなやかに 世界と未来を 創る人」の実現に向け、基本計画で示した基本方針や基本施策を推進するための具体的な取組等を定める計画です。

２　構成

新潟市教育振興基本計画では、４つの基本方針と 14 の基本施策を展開することとしています。

実施計画では、基本計画を具現化するために、４年の計画期間に取り組む６７の事業を、関連が深い基本施策別に分類したものです。基本施策別に、「事業の概要」や「取組指標」を示しています。

３　対象範囲

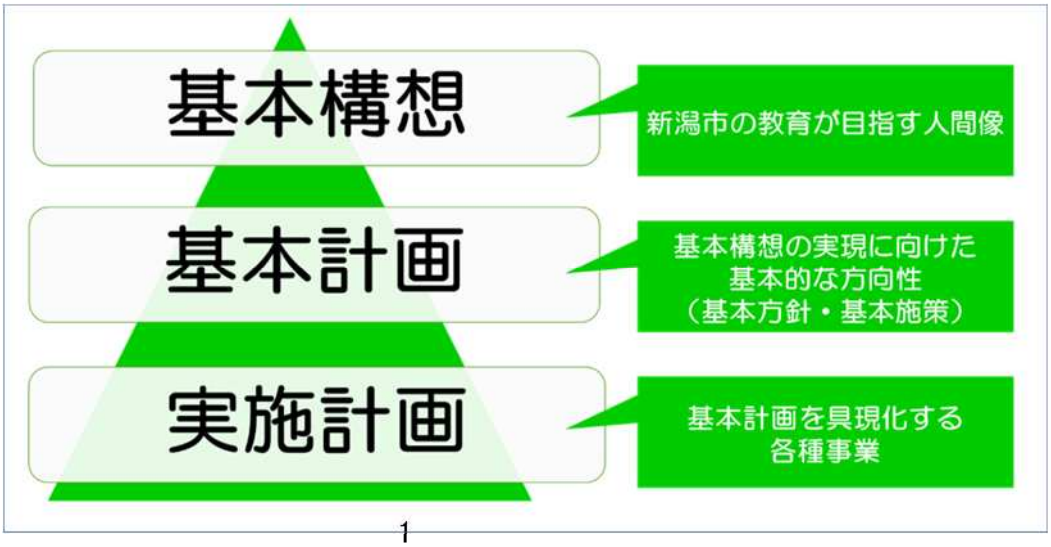
新潟市教育振興基本計画は、本市の教育行政に関わる基本的な計画であり、教育委員会が所管している学校教育を含む乳幼児から高齢者までの生涯を通した学習全般を対象範囲としています。

４　期間

新潟市教育振興基本計画 の「基本構想」「基本計画」の計画期間は令和７（2025）年度から令和 14（2032）年度までの８年間としています。実施計画の期間は、前期と後期の二期にわけて４年ずつ実施することとし、本実施計画である前期は、令和７（2025）年度から令和 10（2028）年度の期間とします。

	令和５年度 [2023]	令和６年度 [2024]	令和７年度 [2025]	令和８年度 [2026]	令和９年度 [2027]	令和１０年度 [2028]	令和１１年度 [2029]	令和１２年度 [2030]	令和１３年度 [2031]	令和１４年度 [2032]
「基本構想」「基本計画」			8 年計画							
「実施計画」			前期 4 年計画				後期 4 年計画			

Ⅱ　施策体系



Ⅲ　基本構想

基本構想は、新潟市の教育が目指す人間像を示したものです。
以下のように「新潟市の教育が目指す人間像」を示し、その実現に向けて各施策を展開します。

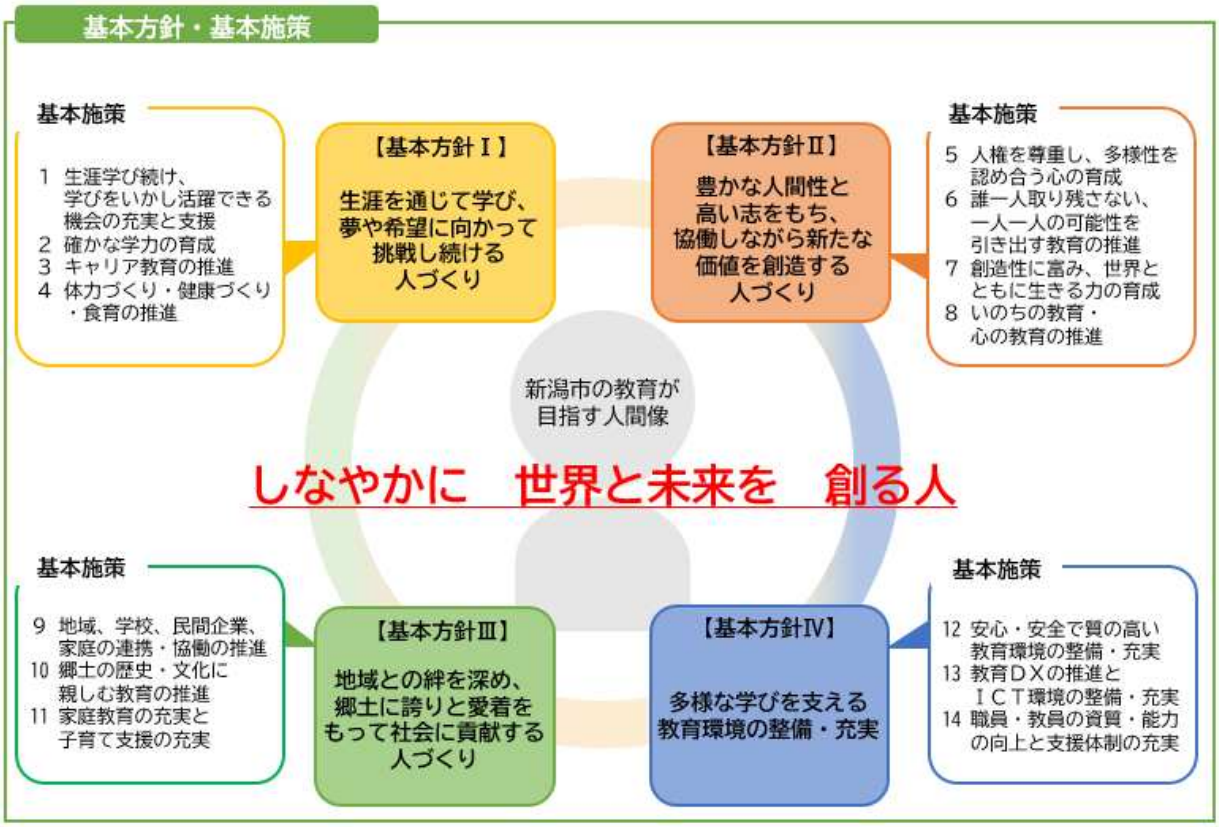
【新潟市の教育が目指す人間像】

しなやかに　世界と未来を　創る人

「しなやか」の言葉は、「柔軟性、弾力性」という意味になりますが、「粘り強さ」「たくましさ」「適応力」という意味も含んでいると考えています。
「世界と未来を創る人」については、グローバルな世界や自分が関わる身近な地域社会を「世界」と表しています。既成概念にとらわれず、主体性と挑戦する気概をもち、新たな価値を創造しながら、しなやかに「世界」や「未来」を創り出していく新潟市民であってほしいという願いを込めています。

Ⅳ　基本計画

基本計画は、基本構想の実現に向けた基本的な方向性を示したものです。



基本方針	基本施策
Ⅰ　生涯を通じて学び、夢や希望に向かって挑戦し続ける人づくり	
	1.　生涯学び続け、学びをいかし活躍できる機会の充実と支援
	2.　確かな学力の育成
	3.　キャリア教育の推進
	4.　体力づくり・健康づくり・食育の推進
Ⅱ　豊かな人間性と高い志をもち、協働しながら新たな価値を創造する人づくり	
	5.　人権を尊重し、多様性を認め合う心の育成
	6.　誰一人取り残さない、一人一人の可能性を引き出す教育の推進
	7.　創造性に富み、世界とともに生きる力の育成
	8.　いのちの教育・心の教育の推進
Ⅲ　地域との絆を深め、郷土に誇りと愛着をもって社会に貢献する人づくり	
	9.　地域、学校、民間企業、家庭の連携・協働の推進
	10. 郷土の歴史・文化に親しむ教育の推進
	11. 家庭教育の充実と子育て支援の充実
Ⅳ　多様な学びを支える教育環境の整備・充実	
	12. 安心・安全で質の高い教育環境の整備・充実
	13. 教育 DX の推進と ICT 環境の整備・充実
	14. 職員・教員の資質・能力の向上と支援体制の充実

Ⅴ　施策指標、取組指標について

1　施策指標、取組指標、施策別計画の見方

2　施策指標、取組指標一覧

（◆関連指標：市長部局で設定している指標）

基本施策１	
施策指標	生涯学習活動で身に付けた知識や技能を、地域や学校、ボランティア活動に活かしている市民の割合
	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していると肯定的に回答した児童生徒の割合
取組指標	生涯学習ボランティアバンク登録件数
	「前年度までに、授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか」に肯定的に回答した学校の割合
	地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合
	新潟市立図書館に利用登録している市民の割合

【指標について】
- 指標は、その施策や事業がねらいに沿って確実に実施されているかどうかを判断するためのものです。
- 可能な限り目指す市民やこどもの姿を想定して設定しています。

【施策指標について】
新潟市の教育が目指す人間像の実現に向けた各分野において特に重視する指標。

【取組指標について】
施策指標を実現するための具体的な取組において特に重視する指標で、重点事業に設定。

基本施策１１　家庭教育の充実と子育て支援の充実

●家庭の教育力の向上に向け、学校と家庭及び地域と家庭の連携を推進します。
●子育て中の保護者が安心して子育てをできるよう、家庭教育に関する学習の機会や悩みを共有できる仲間づくりの支援などの充実を図ります。
●乳幼児期からの家庭での読書習慣を形成するために、図書館と保育施設などが連携し、発達段階に応じた効果的な取組を進めます。

◇ 施策指標

施策指標（◆関連指標：市長部局で設定している指標）	現状値（2023）	2025	2026	2027	2028	2032
家庭教育に関する講座等で「今後に生かすことができる」と回答した参加者の割合	91.2%（※1）	92.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	100.0%
家庭で読み聞かせをしていると回答した保護者の割合	78.8%	87.0%	－	88.0%	－	90.0%
こどもの成長や親の役割を踏まえ、こどものよいところを見つけて、ほめていると回答した保護者の割合	現状値なし	90.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	100.0%
◆新潟市は子育てしやすいまちだと思う保護者の割合	70.0%	－	77.0%	－	－	（※2）

※1 従来は、「家庭教育に関する講座」でのアンケートであったが、今後は「家庭教育に関する講座等」とするため参考値としている。
※2 総合計画 2030 において、最終目標（2030）は、「80.0%」と設定されている。

◇ 取組指標

No.	取組指標	現状値（2023）	2025	2026	2027	2028
1	子育て学習出前講座保護者向けアンケートで講座の満足度が「大変良かった」「良かった」の割合	83.5%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	86.0%
2	「こどもが通っている園（幼稚園、保育園、こども園）の教育（保育）に満足している」と肯定的に回答した保護者の割合	現状値なし	70.0%	前年度以上	前年度以上	80.0%
3	家庭で読み聞かせをしていると回答した保護者の割合	78.8%	87.0%	－	88.0%	－

◇ 主な事業

事業名（担当課）	概要	関連指標
★家庭教育振興事業（中央公民館）	こどもの健全な成長を願う保護者を支援するため、子育て各期に応じた家庭教育関連講座・子育て学習出前講座等を実施します。また、子育てに関する情報提供や、講座の受講者同士の意見交換や交流等を通じて、子育てにおける意識啓発、不安感・負担感軽減を図るとともに、保護者の家庭教育力向上に取り組みます。親子の居場所を開設し、地域で孤立しがちな乳幼児の保護者が仲間づくりや交流できる場を提供します。また、ボランティアスタッフの参加を促進し、地域全体で子育てを支える環境を整えます。	1
適切な就学のための相談・連携支援事業（特別支援教育課）【重複事業】	適切な就学のための相談会の充実と、入学支援ファイルの活用推進を図ります。保護者のニーズを丁寧に聴き取り、学校・関係機関等とニーズに沿った支援ができるよう、情報共有・連携を図ります。	－
★幼児教育推進体制事業（教育総務課）	本市の幼児教育の質の向上のため、市立幼稚園が幼児教育のセンター的役割を担うことができるよう、教育の方法や家庭、関係機関との連携について研究を進めます。また、保育園やこども園など他の幼児教育・保育施設や小学校との連携や、保護者のニーズに応じた環境整備を進め、幼児教育の重要性を市民に伝える啓発活動に取り組みます。	2
★ブックスタート事業（中央図書館）	乳幼児期からの読書習慣の形成を目指して、１歳誕生歯科健診で、親子一組ずつに絵本を１冊手渡して読み聞かせを行い、絵本を通した親子のふれあいや読み聞かせの意義など、その大切さを保護者に伝えます。	3
こどもの読書環境整備事業（中央図書館、幼保支援課）	こどもが読書習慣をつけるために、「おはなしのじかん」や「赤ちゃんタイム」等こどもまたは親子を対象とした事業の実施や、ブックリストの発行などを行い、こどもの読書環境整備を進めます。また、保育施設等と図書館が連携し、保護者、職員を対象とした絵本の読み聞かせ講座や研修を実施し、読書環境の充実を図ります。	－

- 数値目標として設定することが難しい場合は、文章で表記している場合もあります。
- 指標には、経年で伸ばしていく指標と、年度内に伸ばしていく指標（毎年度同一数値が並ぶ）があります。各種研修のように、対象者や内容が年度ごとに変わるものは、年度ごとに一定レベルの達成値を目指します。
- 青色の囲み（□）のように施策指標と取組指標が同じ内容となっている事業があります。

- 基本計画を具現化する各種主な事業を明示しています。なお、重点事業はその中でも、特に重点をおく事業のことです。
- 取組指標と特に関連性のある重点事業について赤色の囲み（□）のように明示しています。

２　施策指標、取組指標一覧

（◆関連指標：市長部局で設定している指標）

基本施策１	
施策指標	生涯学習活動で身に付けた知識や技能を、地域や学校、ボランティア活動に活かしている市民の割合
	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していると肯定的に回答した児童生徒の割合
取組指標	生涯学習ボランティアバンク登録件数
	「前年度までに、授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか」に肯定的に回答した学校の割合
	地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合
	新潟市立図書館に利用登録している市民の割合
基本施策２	
施策指標	学ぶことが楽しいと回答した児童生徒の割合
	学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしていると回答した児童生徒の割合
	学校で学んだことを普段の生活の中で役立てていると肯定的に回答した児童生徒の割合
取組指標	「前年度までに、授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか」に肯定的に回答した学校の割合
	「市教委が情報提供する授業改善のポイントや好取組を踏まえ、自校において授業を改善しているか」に肯定的に回答した学校の割合
	外部と連携した学習・授業支援事業は、「児童生徒の基礎・基本の定着に向けた支援体制の整備・充実に効果的であった」に肯定的に回答した学校の割合
	「アグリ・スタディ・プログラムを体験し、本市の農業への誇りが醸成されたか」に肯定的に回答した小中学生の割合
	中学校３年生の CEFR A1 レベル（英検３級）以上の英語力を有する生徒の割合
基本施策３	
施策指標	将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合
	総合的な学習（探究）の時間の中で、自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した児童生徒の割合
取組指標	将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合
	地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合
	市立高等学校等における地域連携教育活動に参加した生徒数（延べ人数）
	総合的な学習（探究）の時間の中で、自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した児童生徒の割合

基本施策４		
	施策指標	「運動が好きですか」に対して肯定的に回答した児童生徒の割合
		健康にすごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていると回答した児童生徒の割合
		◆自分が健康だと思う市民の割合
	取組指標	１週間の総運動時間（体育授業除く）が６０分未満の児童生徒の割合の減少
		「朝食を食べています」で「ほぼ毎日」と回答をした児童生徒の割合
		「学校給食の時間が、児童生徒にとって安心して食事ができる時間となっているか」の問いに肯定的に回答した学校の割合
基本施策５		
	施策指標	自分や周りの人たちの個性や違いを認めたり、大切にしたりしながら生活していると回答した児童生徒の割合
		いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うと回答した児童生徒の割合
		◆自分や、周りの人の人権を意識しながら、生活している市民の割合
	取組指標	学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしていると回答した児童生徒の割合
		いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うと回答した児童生徒の割合
		いじめ解消率
基本施策６		
	施策指標	学校生活は楽しいと肯定的に回答した児童生徒の割合
		特別な配慮を必要とする児童生徒に対する適切な支援や環境が整っていると回答した学校の割合
		学校内外の機関等から相談・指導等を受けた、または受けている不登校児童生徒の割合
	取組指標	日本語指導を受けた幼児児童生徒の日本語能力について、向上したと回答した学校の割合
		公立夜間中学の開校に向けた基本構想・基本計画等の策定や教育課程の編成及び開校後の運営
		学校内外の機関等から相談・指導等を受けた、または受けている不登校児童生徒の割合
		配慮を要する幼児児童生徒等への個別の教育支援計画作成率
		退職教員を配置したサポート実施校への事後アンケートで、児童の支援や教職員の働き方改革に寄与したと回答した学校の割合
		発達障がい通級指導教室を利用する児童生徒の中で、自校で通級による指導を受けることのできる児童生徒の割合（巡回指導を含む）
基本施策７		
	施策指標	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思うと回答した児童生徒の割合
		日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う児童生徒の割合
		◆新潟市は国際的なまちだと思う市民の割合

取組指標	新潟市サマーイベント（イングリッシュ・デイ、高志サマーセミナー、万代高校 BASS）に参加した児童生徒の満足度
	「英語担当教員と ALT との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができているか」に肯定的に回答した中学校の割合
	中学校３年生の CEFR A1 レベル（英検３級）以上の英語力を有する生徒の割合
基本施策８	
施策指標	自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合
	困りごとや不安があるとき、いつでも相談できる人がいると回答した児童生徒の割合
取組指標	自分や周りの人たちの個性や違いを認めたり、大切にしたりしながら生活していると回答した児童生徒の割合
	「道徳の授業では、自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」に肯定的に回答した児童生徒の割合
基本施策９	
施策指標	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒の割合
	地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがあると回答した児童生徒の割合
	学校と地域が協働して「地域とともにある学校づくり」をしていると回答した保護者の割合
取組指標	コミュニティ・スクールと地域と学校パートナーシップ事業の一体的推進が実現していると回答した学校運営協議会の割合
	こどもふれあいスクールのねらいを意識した運営をしていると回答した運営主任の割合
	地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがあると回答した生徒の割合
	こども見守り隊の参加者数の割合
	地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合
基本施策１０	
施策指標	自分が住んでいるまち（地域）が好きですと回答した児童生徒の割合
	地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合
	◆新潟市に住み続けたい市民の割合
	◆新潟市の農水産物などに対して誇りや愛着を持つ市民の割合
取組指標	地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合
	「アグリ・スタディ・プログラムを体験し、本市の農業への誇りが醸成されたか」に肯定的に回答した小中学生の割合

基本施策１１		
	施策指標	家庭教育に関する講座等で「今後に生かすことができる」と回答した参加者の割合
		家庭で読み聞かせをしていると回答した保護者の割合
		こどもの頑張りを認める姿勢を大切にしながら、こどものよいところを見つけて、ほめていると回答した保護者の割合
		◆新潟市は子育てしやすいまちだと思う保護者の割合
	取組指標	子育て学習出前講座保護者向けアンケートで講座の満足度が「大変良かった」「良かった」の割合（％）
		「こどもが通っている園（幼稚園、保育園、こども園）の教育（保育）に満足している」と肯定的に回答した保護者の割合
		家庭で読み聞かせをしていると回答した保護者の割合
基本施策１２		
	施策指標	学校は安全で、安心して過ごしやすい環境であると回答した児童生徒の割合
		教育を受ける環境（学校以外も含む）が充実していると回答した保護者の割合
	取組指標	配慮を要する幼児児童生徒等への個別の教育支援計画作成率
		退職教員を配置したサポート実施校への事後アンケートで、児童の支援や教職員の働き方改革に寄与したと回答した学校の割合
		こども見守り隊の参加者数の割合
		「こどもが通っている園（幼稚園、保育園、こども園）の教育（保育）に満足している」と肯定的に回答した保護者の割合
		公立夜間中学の開校に向けた基本構想・基本計画等の策定や教育課程の編成及び開校後の運営
		地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがあると回答した生徒の割合
基本施策１３		
	施策指標	学校生活において、PC・タブレットなどの ICT 機器を自ら活用して調べたり、自分の考えをまとめたりしていると回答した児童生徒の割合
		ICT を活用した授業づくりを実践していると回答した教職員の割合
	取組指標	学校生活において、PC・タブレットなどの ICT 機器を自ら活用して調べたり、自分の考えをまとめたりしていると回答した児童生徒の割合
		ICT を活用した授業づくりを実践していると回答した教職員の割合
基本施策１４		
	施策指標	主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善に取り組んでいると回答した教職員の割合
		充実して仕事に取り組めていると回答した教職員の割合
	取組指標	教職員研修の講師として招聘した大学教員の数
		「前年度までに、授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか」に肯定的に回答した学校の割合
		充実して仕事に取り組めていると回答した教職員の割合
		各研修講座における参加者の満足度
		各研修講座アンケートで「今後にいかすことができる」と回答した参加者の割合

Ⅵ　実施計画

１　前期実施計画体系図　　【以下、重点事業は事業名のはじめに「★」を表記】

Ⅰ　生涯を通じて学び、夢や希望に向かって挑戦し続ける人づくり

基本施策１　生涯学び続け、学びをいかし活躍できる機会の充実と支援	頁
★生涯学習ボランティア育成事業	14
★「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善事業 （Ⅰ-2、Ⅳ-14 重複事業）	14
★地域探究・体験事業 （Ⅰ-3、Ⅲ-9、Ⅲ-10 重複事業）	14
★図書館サービス事業	14
基本施策２　確かな学力の育成	**頁**
★「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善事業 （Ⅰ-1、Ⅳ-14 重複事業）	16
★学力実態調査分析事業	16
★学習支援連携事業	16
★「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進事業 （Ⅲ-10 重複事業）	16
★外国語教育支援事業 （Ⅱ-7 重複事業）	16
幼保こ小連携推進事業	16
「新潟市の小中一貫教育」の推進事業	16
学校図書館の充実及び活用推進事業	16
基本施策３　キャリア教育の推進	**頁**
★キャリア教育推進事業	18
★地域探究・体験事業 （Ⅰ-1、Ⅲ-9、Ⅲ-10 重複事業）	18
★キャリア教育連携事業	18
★探究学習推進事業	18
基本施策４　体力づくり・健康づくり・食育の推進	**頁**
★運動大好き体力向上ジャンプアッププロジェクト事業	20
★児童生徒の食育・健康づくり推進事業	20
児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業	20
★学校給食の充実	20

＜関連する市長部局の事業の一例＞
- 子どもスポーツふれあい促進事業　（スポーツ振興課）
- 新潟発わくわく教育ファーム推進事業　（食と花の推進課）
- 「食と農のわくわく SDGｓ学習」推進事業（食と花の推進課）
- 食育推進事業　（食と花の推進課）

Ⅱ 豊かな人間性と高い志をもち、協働しながら新たな価値を創造する人づくり

基本施策５ 人権を尊重し、多様性を認め合う心の育成	頁
多様性を認め合う社会教育の推進事業	22
若者支援事業	22
青少年健全育成事業	22
★児童生徒の自立促進推進事業	22
男女共同参画教育の推進事業	22
学校における人権教育、同和教育の推進事業	22
★いじめ対応への支援事業	22
人権教育におけるリテラシー向上事業 （Ⅳ-14 重複事業）	22
基本施策６ 誰一人取り残さない、一人一人の可能性を引き出す教育の推進	**頁**
青少年の居場所づくり事業	24
★帰国・外国人園児児童生徒への支援体制の整備事業	24
★夜間中学設置事業 （Ⅳ-12 重複事業）	24
★不登校・不登校傾向対策事業	24
★個別の教育支援サポート事業 （Ⅳ-12 重複事業）	24
★巡回通級指導教室整備事業	24
適切な就学のための相談・連携支援事業 （Ⅲ-11 重複事業）	24
特別支援教育推進のための学校園体制支援事業 （Ⅳ-14 重複事業）	24
読書バリアフリー推進事業	24
基本施策７ 創造性に富み、世界とともに生きる力の育成	**頁**
★国際交流推進事業	26
★外国語指導助手（ALT）配置事業	26
★外国語教育支援事業 （Ⅰ-2 重複事業）	26
ESD（SDGs）推進事業	26
基本施策８ いのちの教育・心の教育の推進	**頁**
★いのちを大切にする教育推進事業	28
★議論する道徳科推進事業	28
自己肯定感向上事業	28

＜関連する市長部局の事業の一例＞
- 新潟市子ども条例推進事業　（こども政策課）
- ヤングケアラー支援体制整備事業　（こども政策課）
- （公財）新潟市国際交流協会による文化理解講座　（国際課）
- 姉妹・友好都市等との青少年交流　（国際課）

Ⅲ 地域との絆を深め、郷土に誇りと愛着をもって社会に貢献する人づくり

基本施策９ 地域、学校、民間企業、家庭の連携・協働の推進	頁
★地域とともにある学校づくり推進事業	30
★こどもふれあいスクール事業	30
★地域クラブ活動推進事業 （Ⅳ-12 重複事業）	30
★地域見守り活動支援事業 （Ⅳ-12 重複事業）	30
「防災教育」学校・地域連携事業	30
学社民の融合による地域の担い手育成事業	30
図書館と教育機関・企業との連携協力事業	31
★地域探究・体験事業 （Ⅰ-1、Ⅰ-3、Ⅲ-10 重複事業）	31
こども体験活動・ボランティア活動推進事業	31
基本施策１０ 郷土の歴史・文化に親しむ教育の推進	**頁**
★地域探究・体験事業 （Ⅰ-1、Ⅰ-3、Ⅲ-9 重複事業）	34
郷土資料の収集・活用事業	34
優れた音楽・芸術に触れる機会の提供事業	34
★「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進事業 （Ⅰ-2 重複事業）	34
基本施策１１ 家庭教育の充実と子育て支援の充実	**頁**
★家庭教育振興事業	36
適切な就学のための相談・連携支援事業 （Ⅱ-6 重複事業）	36
★幼児教育推進体制事業 （Ⅳ-12 重複事業）	36
★ブックスタート事業	36
こどもの読書環境整備事業	36

＜関連する市長部局の事業の一例＞
- 新潟市子ども条例推進事業（こども政策課）
- 放課後児童健全育成事業（こども政策課）
- ファミリー・サポート・センター事業（こども政策課）
- 子どものための芸術文化体験事業（文化政策課）
- 子どもの学習・生活支援事業（福祉総務課）
- 新潟発わくわく教育ファーム推進事業（食と花の推進課）
- 「食と農のわくわく SDGｓ学習」推進事業（食と花の推進課）

Ⅳ 多様な学びを支える教育環境の整備・充実

基本施策１２ 安心・安全で質の高い教育環境の整備・充実	頁
就学援助事業	38
新潟市奨学金貸付事業	38
★個別の教育支援サポート事業（Ⅱ-6 重複事業）	38
★地域見守り活動支援事業（Ⅲ-9 重複事業）	38
★幼児教育推進体制事業（Ⅲ-11 重複事業）	38
学校適正配置事業	38
★夜間中学設置事業（Ⅱ-6 重複事業）	39
学校施設整備事業	39
情報発信事業	39
★地域クラブ活動推進事業（Ⅲ-9 重複事業）	39
基本施策１３ 教育 DX の推進と ICT 環境の整備・充実	**頁**
★教育 DX 環境整備事業	42
次世代の校務 DX 環境整備事業	42
★教育 DX 人材育成事業	42
デジタルを活用した図書館サービス推進事業	42
基本施策１４ 職員・教員の資質・能力の向上と支援体制の充実	**頁**
★教職員研修における大学との連携事業	44
★「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善事業（Ⅰ-1、Ⅰ-2 重複事業）	44
★多忙化解消対策推進事業	44
特別支援教育推進のための学校園体制支援事業（Ⅱ-6 重複事業）	44
人権教育におけるリテラシー向上事業（Ⅱ-5 重複事業）	44
★教育関係職員の研修プログラム事業	44

＜関連する市長部局の事業の一例＞
- 私立高等学校学費助成（こども政策課）
- 結婚・子育てを応援するまちづくり事業（こども政策課）
- こどもの学習・生活支援事業（福祉総務課）

基本方針Ⅰ
生涯を通じて学び、夢や希望に向かって挑戦し続ける人づくり

基本施策１　生涯学び続け、学びをいかし活躍できる機会の充実と支援

●市民の主体的な学習活動を推進するため、様々な関係機関と連携しながら、時代や社会の変化、市民の学習ニーズに応じた多様な学習機会の提供を効果的に進めます。
●市民が生涯を通して学習した成果を人づくりや地域づくりにいかす循環型生涯学習の推進に一層力を入れていきます。
●生涯にわたる学びの基礎となる読書習慣の定着を図るため、読書環境の整備を図ります。

◇ 施策指標

施策指標	現状値(2023)	2025	2026	2027	2028	2032
生涯学習活動で身に付けた知識や技能を、地域や学校、ボランティア活動に活かしている市民の割合	16.1%	15.0%	16.0%	17.0%	18.0%	22.0%
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していると肯定的に回答した児童生徒の割合	小6 76.7% 中3 71.7% （※）	小6 77.0% 中3 72.0%	小6 77.0% 中3 72.0%	小6 78.0% 中3 73.0%	小6 78.0% 中3 73.0%	小6 80.0% 中3 75.0%

※「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していると肯定的に回答した児童生徒の割合」の現状値は 2022 年の数値。

◇ 取組指標

No.	取組指標	現状値(2023)	2025	2026	2027	2028
1	生涯学習ボランティアバンク登録件数	126 件	130 件	135 件	140 件	145 件
2	「前年度までに、授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか」に肯定的に回答した学校の割合	小学校 89.7% 中学校 84.5%	小学校 91.0% 中学校 86.0%	小学校 91.0% 中学校 86.0%	小学校 92.0% 中学校 87.0%	小学校 92.0% 中学校 87.0%
3	地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合	小6 77.8% 中3 72.3%	小6 78.0% 中3 72.5%	小6 78.5% 中3 73.0%	小6 79.0% 中3 73.5%	小6 79.5% 中3 74.0%
4	新潟市立図書館に利用登録している市民の割合	14.2%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	14.5%

◇ 主な事業　【以下、重点事業は事業名のはじめに「★」を表記】

事業名 （担当課）	概要	関連 指標
★生涯学習ボランティア 育成事業 （生涯学習センター）	市民一人一人が自らの学習で培った知識や経験を地域活動や教育活動等にいかすとともに、その活動が新たな自分を発見したり、生きがいを見つけたりすることにつながるよう、人材の育成と活動を支援します。	1
★「主体的・対話的で深い学び」を視点とした 授業改善事業 （学校支援課）	「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」により「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善を推進するため、方向性の提示や研修の企画、実践例の紹介などの支援を行います。 また、自ら学ぶ家庭学習習慣の定着のため、指導事例やツールの効果的な活用方法の紹介などの支援を行います。	2
★地域探究・体験事業 （学校支援課）	児童生徒の探究的な学習の推進に向けて、学校が地域の歴史と現在、未来について地域の有識者や、企業、団体と協力しながら、体験的な授業が行えるよう支援を行います。	3
★図書館サービス事業 （中央図書館）	生涯にわたる学びの基礎となる読書習慣の定着を図るため、読書環境を整備します。 市民の生活課題や地域課題の解決に役立つよう、資料や情報を提供するとともに様々な事業を実施します。 図書館に関わる様々なボランティアを育成・支援し、活動できる場を提供します。	4

基本施策２　確かな学力の育成

●児童生徒一人一人の学ぶ意欲を高め、基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成できるよう、教育活動の支援体制の整備・充実を図ります。
●幼児教育の質を高める取組を推進するとともに、小学校教育との円滑な接続や、小学校と中学校、中学校と高等学校の連携を進めます。
●幼児教育から中等教育を通して、幼児の自発的な遊びを通した学びや、児童生徒の「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるなど「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組を進めます。
●こどもたちの学習の基盤となる言語能力や情報活用能力などを育成するため、学校図書館の機能を十分にいかした読書環境の整備やこどもの読書活動を推進します。

◇ 施策指標

施策指標	現状値(2023)	2025	2026	2027	2028	2032
学ぶことが楽しいと回答した児童生徒の割合	現状値なし	小6 70.0% 中3 70.0%	小6 70.0% 中3 70.0%	小6 70.0% 中3 70.0%	小6 70.0% 中3 70.0%	小6 80.0% 中3 80.0%
学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしていると回答した児童生徒の割合	小6 85.5% 中3 88.1%	小6 88.0% 中3 88.0%	小6 88.0% 中3 88.0%	小6 88.5% 中3 88.5%	小6 88.5% 中3 88.5%	小6 91.0% 中3 91.0%
学校で学んだことを普段の生活の中で役立てていると肯定的に回答した児童生徒の割合	小6 83.6% 中3 81.2%	小6 86.0% 中3 83.0%	小6 86.0% 中3 83.0%	小6 86.0% 中3 84.0%	小6 86.0% 中3 84.0%	小6 86.0% 中3 86.0%

◇ 取組指標

No.	取組指標	現状値(2023)	2025	2026	2027	2028
1	「前年度までに、授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか」に肯定的に回答した学校の割合	小学校 89.7% 中学校 84.5%	小学校 91.0% 中学校 86.0%	小学校 91.0% 中学校 86.0%	小学校 92.0% 中学校 87.0%	小学校 92.0% 中学校 87.0%
2	「市教委が情報提供する授業改善のポイントや好取組を踏まえ、自校において授業を改善しているか」に肯定的に回答した学校の割合	現状値なし	アンケート実施指標設定	90.0%を上回る	90.0%を上回る	100.0%
3	外部と連携した学習・授業支援事業は、「児童生徒の基礎・基本の定着に向けた支援体制の整備・充実に効果的であった」に肯定的に回答した学校の割合	現状値なし	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
4	「アグリ・スタディ・プログラムを体験し、本市の農業への誇りが醸成されたか」に肯定的に回答した小中学生の割合	95.3%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%
5	中学校３年生の CEFR A1 レベル（英検３級）以上の英語力を有する生徒の割合	36.2%	47.0%	47.0%	50.0%	50.0%

◇ 主な事業

事業名 （担当課）	概要	関連指標
★「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善事業 （学校支援課） 【重複事業】	「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」により「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善を推進するため、方向性の提示や研修の企画、実践例の紹介などの支援を行います。 また、自ら学ぶ家庭学習習慣の定着のため、指導事例やツールの効果的な活用方法の紹介などの支援を行います。	1
★学力実態調査分析事業 （学校支援課）	各学校の指導方法の工夫・改善につながるよう、多面的・多角的に学力実態の分析を行い、それをもとに授業改善のポイントや好取組を情報提供し、共有します。	2
★学習支援連携事業 （学校支援課）	児童生徒の多様な学びに対応するため、学生や一般市民による学習支援のボランティアを学校に派遣し、事前の授業準備や授業補助、個別指導など、児童生徒の基礎・基本の定着に向けた学習支援の環境整備を行います。	3
★「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進事業 （学校支援課）	確かな学力の向上を図るとともに、本市が誇る農業や食に関する理解を深め、ふるさと新潟への愛情や誇りを育むために、学習指導要領の内容に基づいて学習と農業体験とを結びつけた農業体験学習プログラム「アグリ・スタディ・プログラム」を推進します。	4
★外国語教育支援事業 （学校支援課）	児童生徒の英語力の向上のため、民間事業者等と連携したり、情報発信や研修会を実施したりし、教師の外国語の授業力を高めます。	5
幼保こ小連携推進事業 （学校支援課）	幼児期から児童期の発達段階に応じた支援を行えるよう、幼稚園、保育園、認定こども園と小学校の職員同士の研修や、架け橋プログラム及び架け橋期のカリキュラムの作成・実施を支援します。	―
「新潟市の小中一貫教育」の推進事業 （教育総務課）	こどもたちの学習や学校生活への適応課題の解消を図るため、中学校区を単位とした小中学校間において、児童生徒像を共有し、それに向けて連携した教育活動の充実を推進します。	―
学校図書館の充実及び活用推進事業 （学校支援課、中央図書館）	児童生徒が、言語能力や情報活用能力などの確かな学力を身に付けられるよう、関係課・機関が連携し学校図書館の環境整備と利活用の推進、新聞活用教育の推進（NIE）、探究活動および読書活動の充実に努めます。 学校図書館支援センターによる学校図書館訪問や研修、資料提供等を通して、学校司書等図書館担当教職員への支援や学校図書館活用の支援を行います。	―

基本施策３　キャリア教育の推進

●児童生徒が夢や希望に向かって挑戦し続けることができるよう、学校の特色や地域の実情を踏まえつつ、発達段階にふさわしいキャリア教育を推進します。
●児童生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、将来、社会的・職業的に自立し、様々な人とかかわり、自分らしく生きる資質・能力を育みます。

◇ 施策指標

施策指標	現状値(2023)	2025	2026	2027	2028	2032
将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合	小6 80.7% 中3 64.7%	小6 83.0% 中3 71.0%	小6 84.0% 中3 72.0%	小6 85.0% 中3 73.0%	小6 86.0% 中3 74.0%	小6 88.0% 中3 76.0%
総合的な学習（探究）の時間の中で、自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した児童生徒の割合	小6 80.8% 中3 87.4%	小6 81.0% 中3 88.0%	小6 81.0% 中3 88.0%	小6 83.0% 中3 89.0%	小6 83.0% 中3 89.0%	小6 85.0% 中3 90.0%

◇ 取組指標

No.	取組指標	現状値(2023)	2025	2026	2027	2028
1	将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合	小6 80.7% 中3 64.7%	小6 83.0% 中3 71.0%	小6 84.0% 中3 72.0%	小6 85.0% 中3 73.0%	小6 86.0% 中3 74.0%
2	地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合	小6 77.8% 中3 72.3%	小6 78.0% 中3 72.5%	小6 78.5% 中3 73.0%	小6 79.0% 中3 73.5%	小6 79.5% 中3 74.0%
3	市立高等学校等における地域連携教育活動に参加した生徒数（延べ人数）	2,217人	前年度以上	前年度以上	前年度以上	前年度以上
4	総合的な学習（探究）の時間の中で、自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した児童生徒の割合	小6 80.8% 中3 87.4%	小6 81.0% 中3 88.0%	小6 81.0% 中3 88.0%	小6 83.0% 中3 89.0%	小6 83.0% 中3 89.0%

◇ 主な事業

事業名 （担当課）	概要	関連 指標
★キャリア教育推進事業 （学校支援課）	キャリア教育について教職員の理解を図るため、キャリア教育の意義や理念、キャリア・パスポートの活用方法や好事例等を周知・共有し、自校化につなげます。	1
★地域探究・体験事業 （学校支援課）	児童生徒の探究的な学習の推進に向けて、学校が地域の歴史と現在、未来について地域の有識者や、企業、団体と協力しながら、体験的な授業が行えるよう支援を行います。	2
★キャリア教育連携事業 （学校支援課）	キャリア形成が図られるよう、社会の外部機関と連携し、学校・生徒と企業・団体とをつなぎ、体験活動等の機会を提供する体制を整備します。	3
★探究学習推進事業 （学校支援課）	教科横断的な資質・能力を育むため、総合的な学習の時間・総合的な探究の時間に関する研修の企画や研修支援を行います。	4

基本施策４　体力づくり・健康づくり・食育の推進

●学校と家庭・地域が連携し、児童生徒が、運動の大切さや楽しさを知ることのできる環境を整えることで、健やかな身体を育みます。
●市民が自らの心身の健康に関心をもち、健康の保持増進、疾病の予防など、生涯にわたって健やかに生きるための主体的な健康づくりができるよう支援します。
●児童生徒の性と健康に関する普及啓発・相談支援に係る取組の充実を図ります。
●児童生徒がバランスのよい食事や正しい食事マナー、食物の大切さなどを理解し、望ましい食習慣を身に付けられるよう、家庭や地域と連携した食に関する指導を推進します。
●食育の生きた教材となる学校給食の充実を図ります。

◇ 施策指標

施策指標 （◆関連指標：市長部局で設定している指標）	現状値 (2023)	2025	2026	2027	2028	2032
「運動が好きですか」に対して肯定的に回答した児童生徒の割合	小５ 90.4% 中２ 81.9%	小５ 90.5% 中２ 85.0%	小５ 90.5% 中２ 85.0%	小５ 91.0% 中２ 86.0%	小５ 91.0% 中２ 86.0%	小５ 92.0% 中２ 88.0%
健康にすごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていると回答した児童生徒の割合	現状値 なし	小６ 87.0% 以上 中３ 85.0% 以上	小６ 87.0% 以上 中３ 85.0% 以上	小６ 87.0% 以上 中３ 85.0% 以上	小６ 87.0% 以上 中３ 85.0% 以上	小６ 90.0% 以上 中３ 90.0% 以上
◆自分が健康だと思う市民の割合	75.7%	―	（※）	―	―	（※）

※新潟市総合計画 2030 において、中間目標（2026）は、「現状値を上回る」、最終目標（2030）は、「中間値を上回る」と設定されている。

◇ 取組指標

No.	取組指標	現状値 (2023)	2025	2026	2027	2028
1	１週間の総運動時間（体育授業除く）が６０分未満の児童生徒の割合の減少	小５ 男 10.4% 女 18.2% 中２ 男 10.0% 女 23.8%	現状値 より減少	前年割合 より減少	前年割合 より減少	前年割合 より減少
2	「朝食を食べています」で「ほぼ毎日」と回答をした児童生徒の割合	小６ 89.3% 中３ 86.2%	小６ 前年度 以上 中３ 前年度 以上	小６ 前年度 以上 中３ 前年度 以上	小６ 前年度 以上 中３ 前年度 以上	小６ 100.0% 中３ 100.0%
3	「学校給食の時間が、児童生徒にとって安心して食事ができる時間となっているか」の問いに肯定的に回答した学校の割合	現状値 なし	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

◇ 主な事業

事業名 （担当課）	概要	関連指標
★運動大好き体力向上ジャンプアッププロジェクト事業 （学校支援課）	児童生徒の体力向上のため、各学校で体力テストを活用した取組ができるよう支援します。 児童生徒がより運動好きになるよう、実技講習会や研修会を企画し、教員の資質向上を図ったり、事例や運動データの提供を行ったりします。 生徒が積極的に体を動かし、興味が高まるよう、外部人材をいかした授業を支援します。	1
★児童生徒の食育・健康づくり推進事業 （保健給食課）	児童生徒が規則正しい生活習慣や望ましい食習慣を身につけられるよう、各種健康診断に加え生活習慣病健診を実施するほか、家庭や地域にも訴求できるよう関係者と連携しながら健康教育・食育の取組を展開します。	2
児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業 （保健給食課）	児童生徒のむし歯・歯肉炎予防につなげるため、フッ化物洗口や歯科衛生士による歯科保健指導等を実施します。	―
★学校給食の充実 （保健給食課）	安心・安全な学校給食を提供するとともに、地場産物の活用など給食を通じた食育の推進に取り組みます。	3

基本方針Ⅱ
豊かな人間性と高い志をもち、協働しながら新たな価値を創造する人づくり

基本施策５　人権を尊重し、多様性を認め合う心の育成

●市民がともに生きる喜びや幸せな生活が実感できるように、性別、世代、障がいの有無、国籍、習慣、文化、考え方など、人にはそれぞれ違いがあることを理解し、互いの権利を尊重する教育を推進します。
●全ての市民がこどもの権利を理解し、幼少期から差別や偏見のない社会を実現するため、未来を展望した教育や社会参加と相互理解を図る活動を推進します。
●「いじめは、どの学校にも、どの学級にも、どのこどもにも起こりうる」という認識にたち、誰もが安心して過ごすことのできる環境づくりを進めます。

◇ 施策指標

施策指標 （◆関連指標：市長部局で設定している指標）	現状値 (2023)	2025	2026	2027	2028	2032
自分や周りの人たちの個性や違いを認めたり、大切にしたりしながら生活していると回答した児童生徒の割合	現状値なし	小6 81.0% 中3 81.0%	小6 81.0% 中3 81.0%	小6 82.0% 中3 82.0%	小6 82.0% 中3 82.0%	小6 84.0% 中3 84.0%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うと回答した児童生徒の割合	小6 96.7% 中3 96.1%	小6 100.0% 中3 100.0%	小6 100.0% 中3 100.0%	小6 100.0% 中3 100.0%	小6 100.0% 中3 100.0%	小6 100.0% 中3 100.0%
◆自分や、周りの人の人権を意識しながら、生活している市民の割合	65.9%	―	67.0%	―	―	（※）

※総合計画 2030 において、最終目標（2030）は、「70.0%」と設定されている。

◇ 取組指標

No.	取組指標	現状値 (2023)	2025	2026	2027	2028
1	学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしていると回答した児童生徒の割合	小学校 85.5% 中学校 88.1%	小学校 86.0% 中学校 88.5%	小学校 86.5% 中学校 89.0%	小学校 87.0% 中学校 89.5%	小学校 87.5% 中学校 90.0%
2	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うと回答した児童生徒の割合	小学校 85.9% 中学校 83.7%	小学校 87.5% 中学校 85.0%	小学校 88.0% 中学校 85.5%	小学校 88.5% 中学校 86.0%	小学校 89.0% 中学校 86.5%
3	いじめ解消率	77.3%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	前年度以上

◇ 主な事業

事業名（担当課）	概要	関連指標
多様性を認め合う社会教育の推進事業（中央公民館）	公民館での社会教育活動を通じて多様性を尊重する社会の実現を目指すため、お互いを理解しようとする講座やイベントを提供します。	―
若者支援事業（生涯学習推進課）	若者の社会的自立・職業的自立に向け、若者が自分に自信をもち社会性を身に付け、夢や目標に向かって動き出すことができるよう、若者支援センターにおいて相談業務や自立支援事業、居場所の運営などを行います。	―
青少年健全育成事業（生涯学習推進課）	青少年の非行・被害の未然防止のため、市内の繁華街を中心とした街頭育成活動や非行防止キャンペーン活動などに取り組みます。また、青少年の健全な成長を支える地域力の活性化を図るため、各地区青少年育成団体等の活動を支援します。	―
★児童生徒の自立促進推進事業（学校支援課）	授業や特別活動において「自己指導能力」の育成を推進するために、授業と生徒指導の一体化によるこども一人一人の成長を促す生徒指導について、資料提示や研修において周知等を行います。	1,2
男女共同参画教育の推進事業（学校支援課）	男女平等教育の着実な推進に向けて「自分らしさ」「その人らしさ」をいかし、個性と能力が発揮できるよう、学校へ学習資料の活用について周知等を行います。	―
学校における人権教育、同和教育の推進事業（学校支援課）	いじめ問題を含めた人権教育、同和教育の推進のために、全ての教職員に対して校内研修などが確実に実施されるように支援します。 多様な人たちとの共生する態度を養うために、障がい者に関する教材を提示します。	―
★いじめ対応への支援事業（学校支援課）	いじめにおいて、こどもの変化を見逃さず早期発見し、適切な対応ができるよう、資料等を活用して、周知徹底を図ります。また、いじめを起こさないよう、指導事例集の活用と実施をします。	3
人権教育におけるリテラシー向上事業（生涯学習推進課）	職員一人一人が人権問題や同和問題に関心をもち、理解と認識を深め、市民のよき相談相手役・パートナーとしての資質を高めるため、研修会を実施するなど行政職員（市長部局・教育委員会含む）や学校教職員の人権意識の向上に向けた取組を推進します。	―

基本施策６ 誰一人取り残さない、一人一人の可能性を引き出す教育の推進

●自らの可能性を発揮しながら学び育つことができるよう、一人一人の個性を尊重し、多様な教育的ニーズに応じた教育環境の整備を進めます。
●心の小さな SOS を見逃さず、全ての児童生徒が安心して学びに向かうことができる環境づくりを進めます。
●共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けて、就学時から社会参加まで切れ目のない支援を充実させるなど、「自分らしく学び成長する」特別支援教育を推進します。
●活字での学習や読書に困難を抱える市民に対し、一人一人のニーズに応じた読書環境の整備を推進します。

◇ 施策指標

施策指標	現状値(2023)	2025	2026	2027	2028	2032
学校生活は楽しいと肯定的に回答した児童生徒の割合	小６ 88.6% 中３ 90.8%	小６ 91.0% 中３ 91.0%	小６ 91.0% 中３ 91.0%	小６ 91.0% 中３ 91.0%	小６ 91.0% 中３ 91.0%	小６ 92.0% 中３ 92.0%
特別な配慮を必要とする児童生徒に対する適切な支援や環境が整っていると回答した学校の割合	現状値なし	80.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	100.0%
学校内外の機関等から相談・指導等を受けた、または受けている不登校児童生徒の割合	小学校 94.9% 中学校 86.1%	小学校 100.0% 中学校 100.0%	小学校 100.0% 中学校 100.0%	小学校 100.0% 中学校 100.0%	小学校 100.0% 中学校 100.0%	小学校 100.0% 中学校 100.0%

◇ 取組指標

No.	取組指標	現状値(2023)	2025	2026	2027	2028
1	日本語指導を受けた幼児児童生徒の日本語能力について、向上したと回答した学校の割合	82.4%	87.0%	90.0%	93.0%	95.0%
2	公立夜間中学の開校に向けた基本構想・基本計画等の策定や教育課程の編成及び開校後の運営	現状値なし	基本構想策定	開校に向けた準備及び開校	開校に向けた準備及び開校	開校に向けた準備及び開校
3	学校内外の機関等から相談・指導等を受けた、または受けている不登校児童生徒の割合	小学校 94.9% 中学校 86.1%	小学校 100.0% 中学校 100.0%	小学校 100.0% 中学校 100.0%	小学校 100.0% 中学校 100.0%	小学校 100.0% 中学校 100.0%
4	配慮を要する幼児児童生徒等への個別の教育支援計画作成率	69.5%	85.0%	90.0%	前年度以上	95.0%
5	退職教員を配置したサポート実施校への事後アンケートで、児童の支援や教職員の働き方改革に寄与したと回答した学校の割合	現状値なし	80.0%	85.0%	88.0%	90.0%
6	発達障がい通級指導教室を利用する児童生徒の中で、自校で通級による指導を受けることのできる児童生徒の割合（巡回指導を含む）	35.0%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%

◇ 主な事業

事業名 （担当課）	概要	関連指標
青少年の居場所づくり事業 （生涯学習センター／中央公民館）	こどもたちが安全で自由に過ごすことができるよう、生涯学習センターや公民館の一室または共有スペースを「こどもの居場所」として開放します。	―
★帰国・外国人園児児童生徒への支援体制の整備事業 （学校支援課）	帰国・外国人園児児童生徒の日本語使用能力や日本での生活への適応力を高めるため、該当園児児童生徒が在籍する市立学校園に日本語指導協力者を派遣します。 日本語の指導を要する園児児童生徒の在籍校園やその地域における環境整備を含めた効果的な日本語指導及び支援のあり方を探ります。	1
★夜間中学設置事業 （教育総務課）	夜間中学を設置することにより、様々な理由によって、学齢期に十分な教育を受けられなかった方々に教育を受ける機会を提供することで、教育の機会均等を図るとともに、社会的包摂の実現や、生涯学習の促進を目指します。	2
★不登校・不登校傾向対策事業 （学校支援課）	不登校・不登校傾向の児童生徒の居場所づくりと、多様な児童生徒の学びを保障するための居場所づくりや安心して過ごせるための環境づくりを推進します。	3
★個別の教育支援サポート事業 （特別支援教育課）	特別な支援が必要なこどもが就学前から社会参加まで、切れ目なく支援を受けられる体制整備のため、個別の教育支援計画が進むよう、作成支援システムの活用を推進します。 担任や養護教諭が不在時の学校や特別な教育的支援を必要とする児童が在籍する学級（通常・特別支援）へ退職教員を配置し、個別の教育支援計画に沿った質の高い支援を行います。	4,5
★巡回通級指導教室整備事業 （特別支援教育課）	他校通級の保護者送迎の負担軽減と、児童生徒が通い慣れた学校で安心して指導を受けられるよう、全ての市立学校への発達障がい通級指導教室設置（巡回指導を含む）を計画的に進めます。	6
適切な就学のための相談・連携支援事業 （特別支援教育課）	適切な就学のための相談会の充実と、入学支援ファイルの活用推進を図ります。保護者のニーズを丁寧に聴き取り、学校・関係機関等とニーズに沿った支援ができるよう、情報共有・連携を図ります。	―
特別支援教育推進のための学校園体制支援事業 （特別支援教育課）	各学校園での一層の特別支援教育の推進と校園内体制強化のため、キャリアステージごとの研修の充実を図ります。	―
読書バリアフリー推進事業 （中央図書館）	活字での学習や読書に困難を抱える市民一人一人のニーズに応じるため、バリアフリーの視点での読書環境を整備し、支援に取り組みます。	―

基本施策７　創造性に富み、世界とともに生きる力の育成

●日本や諸外国の歴史や文化、伝統、習慣、価値観などに対する理解を深めるとともに、諸外国の人々と互いに信頼関係を構築できるような教育を推進します。
●様々な考えをもつ人たちとよりよい社会や地域を創造するために、協働しながら新たな価値を創造する力を育成します。

◇ 施策指標

施策指標 （◆関連指標：市長部局で設定している指標）	現状値 (2023)	2025	2026	2027	2028	2032
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思うと回答した児童生徒の割合	小６ 76.0% 中３ 67.2%	小６ 77.0% 中３ 68.0%	小６ 77.0% 中３ 68.0%	小６ 78.0% 中３ 69.0%	小６ 78.0% 中３ 69.0%	小６ 80.0% 中３ 71.0%
日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う児童生徒の割合	小６ 82.0% 中３ 63.9%	小６ 83.0% 中３ 65.0%	小６ 83.0% 中３ 65.0%	小６ 84.0% 中３ 66.0%	小６ 84.0% 中３ 66.0%	小６ 86.0% 中３ 68.0%
◆新潟市は国際的なまちだと思う市民の割合	18.2%	―	30.0%	―	―	※

※新潟市総合計画 2030 において、最終目標（2030）は、「50.0%」と設定されている。

◇ 取組指標

No.	取組指標	現状値 (2023)	2025	2026	2027	2028
1	新潟市サマーイベント（イングリッシュ・デイ、高志サマーセミナー、万代高校 BASS）に参加した児童生徒の満足度	98.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2	「英語担当教員と ALT との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができているか」に肯定的に回答した中学校の割合	96.6%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	前年度以上
3	中学校３年生の CEFR A1 レベル（英検３級）以上の英語力を有する生徒の割合	36.2%	47.0%	47.0%	50.0%	50.0%

◇ 主な事業

事業名 （担当課）	概要	関連指標
★国際交流推進事業 （学校支援課）	児童生徒が国際理解を深めたり、外国の人とコミュニケーションを図る楽しさを感じたりすることができるよう、外国人と交流する機会を設定します。	1
★外国語指導助手（ALT）配置事業 （学校支援課）	児童生徒の言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や言語運用能力を育成するために、外国語指導助手（ALT）を全ての市立小中学校、市立中等教育学校、市立高等学校に配置します。	2
★外国語教育支援事業 （学校支援課） 【重複事業】	児童生徒の英語力の向上のため、民間事業者等と連携したり、情報発信や研修会を実施したりし、教師の外国語の授業力を高めます。	3
ESD（SDGｓ）推進事業 （学校支援課）	社会の変化や新たな課題に適切に対応できる力を育むために、持続可能な開発目標（SDGs）に関連した学習を、総合的な学習の時間を中心に展開します（ESD）。	―

基本施策８　いのちの教育・心の教育の推進

●一人一人の存在は唯一無二であることから、自分や相手のいのちを大切にする心の教育を推進します。
●心身の発達に応じ、自分や相手を尊重する心や豊かな人間性、社会性を身に付ける教育を推進します。
●自信と誇りをもって生きることができる教育を推進します。

◇ 施策指標

施策指標	現状値(2023)	2025	2026	2027	2028	2032
自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合	小６ 78.7% 中３ 78.7%	小６ 80.5% 中３ 80.5%	小６ 81.0% 中３ 81.0%	小６ 81.5% 中３ 81.5%	小６ 82.0% 中３ 82.0%	小６ 84.0% 中３ 84.0%
困りごとや不安があるとき、いつでも相談できる人がいると回答した児童生徒の割合	現状値なし	小６ 83.0% 中３ 83.0%	小６ 84.0% 中３ 84.0%	小６ 85.0% 中３ 85.0%	小６ 86.0% 中３ 86.0%	小６ 90.0% 中３ 90.0%

◇ 取組指標

No.	取組指標	現状値(2023)	2025	2026	2027	2028
1	自分や周りの人たちの個性や違いを認めたり、大切にしたりしながら生活していると回答した児童生徒の割合	現状値なし	前年度以上	前年度以上	前年度以上	小６ 84.0% 中３ 84.0%
2	「道徳の授業では、自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」に肯定的に回答した児童生徒の割合	小６ 90.1% 中３ 90.8%	小６ 91.0% 中３ 91.0%	小６ 91.0% 中３ 91.0%	小６ 92.0% 中３ 92.0%	小６ 92.0% 中３ 92.0%

◇ 主な事業

事業名 （担当課）	概要	関連 指標
★いのちを大切にする教育推進事業 （学校支援課）	一人一人の命を大切にする教育を推進するために、他者との関わり方や寄り添い方、支援を求める力の育成に取り組みます。自殺予防のための教育、性に関する他者とのかかわり方について、発達段階に応じた教育を推進します。	1
★議論する道徳科推進事業 （学校支援課）	生命を大切にする心や他人を思いやる心、善悪の判断などの規範意識等の社会性、人間性を育むために、問題解決的、体験的な学習や家庭・地域と連携した学習等、多様な道徳科の授業を推進します。	2
自己肯定感向上事業 （学校支援課）	多様なかかわりを通して友達の良さを見つける視点をもたせるために、縦割り班活動などの異年齢交流の実施を推進します。 自己肯定感を高めるため、学校等においてこどもをほめる（称賛する）経験を積むことができるような取組を充実させます。	―

基本方針Ⅲ
地域との絆を深め、郷土に誇りと愛着をもって社会に貢献する人づくり

基本施策９　地域、学校、民間企業、家庭の連携・協働の推進

●「地域とともにある学校」を目指し、地域と学校が共通の目標をもって、学校、家庭、地域、社会教育施設をつなぐネットワークづくりをさらに進め、協働して事業ができるよう推進します。
●保護者や地域住民、地域のコミュニティ、関係機関や専門機関などと協働し、社会の変化に応じた教育活動の改善を進めます。
●地域の専門的な技能や経験をもつ人材、企業等の協力により、地域の特色をいかした豊かな体験活動や多様な学習機会の充実を図ります。

◇ 施策指標

施策指標	現状値(2023)	2025	2026	2027	2028	2032
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒の割合	小6 59.3% 中3 46.9%（※）	小6 62.5% 中3 50.5%	小6 64.0% 中3 52.0%	小6 65.5% 中3 52.5%	小6 67.0% 中3 54.0%	小6 70.0% 中3 58.0%
地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがあると回答した児童生徒の割合	小6 82.6% 中3 80.7%	小6 83.0% 中3 82.0%	小6 84.0% 中3 83.0%	小6 85.0% 中3 84.0%	小6 86.0% 中3 85.0%	小6 90.0% 中3 90.0%
学校と地域が協働して「地域とともにある学校づくり」をしていると回答した保護者の割合	現状値なし	80.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	90.0%

※「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒の割合」の現状値は 2022 年の数値。

◇ 取組指標

No.	取組指標	現状値(2023)	2025	2026	2027	2028
1	コミュニティ・スクールと地域と学校パートナーシップ事業の一体的推進が実現していると回答した学校運営協議会の割合	現状値なし	前年度以上	前年度以上	前年度以上	100.0%
2	こどもふれあいスクールのねらいを意識した運営をしていると回答した運営主任の割合	現状値なし	前年度以上	前年度以上	前年度以上	100.0%
3	地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがあると回答した生徒の割合	中3 80.7%	中3 82.0%	中3 83.0%	中3 84.0%	中3 85.0%
4	こども見守り隊の参加者数の割合	9.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	前年度以上

5	地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合	小６ 77.8% 中３ 72.3%	小６ 78.0% 中３ 72.5%	小６ 78.5% 中３ 73.0%	小６ 79.0% 中３ 73.5%	小６ 79.5% 中３ 74.0%

◇ 主な事業

事業名（担当課）	概要	関連指標
★地域とともにある学校づくり推進事業 （生涯学習推進課）	コミュニティ・スクールと地域と学校パートナーシップ事業を一体的に推進することで、「地域とともにある学校」づくりに取り組みます。 コミュニティ・スクールでは、よりよい教育の実現に向け、学校運営協議会において、学校、保護者、地域が目標や課題を共有し、連携・協働しながら「地域とともにある学校」づくりを推進できるよう、講座や研修を充実させるなどの支援を行います。 地域と学校パートナーシップ事業においては、多様な地域人材の参画や活用、地域の学びの拠点づくり、地域活動を結ぶネットワークづくりなどの取組を通して学校教育活動のさらなる充実を図ります。	1
★こどもふれあいスクール事業 （生涯学習推進課）	放課後や休日のこどもの居場所づくりと異年齢交流の場づくり、地域・家庭の教育力の活性化のため、小学校の体育館や余裕教室などで、児童の自由遊びを基本とした「こどもふれあいスクール」を実施し、放課後児童クラブと連携した取組も進めます。	2
★地域クラブ活動推進事業 （学校支援課）	中学生が地域で、スポーツや文化活動に親しめるよう環境整備を、学校地域市民と協力しながら整備します。	3
★地域見守り活動支援事業 （学校支援課）	こどもの登下校の安心安全のため、小学校区毎に、見守りを目的としたボランティア組織「こども見守り隊」を設置し、時間や場所を明確にした見守り活動を行います。また、定期的に地域の危険な箇所を点検、確認するため、各小学校での登下校時における防犯対策に関する「地域の連携の場」の開催を支援します。	4
「防災教育」学校・地域連携事業 （学校支援課）	児童生徒が防災意識を高めるとともに、地域の防災活動や災害時の助け合いの大切さを理解し、進んで行動できるようにするため、これまでに自校化してきた各校の防災計画を、社会や自然の状況、学校区の状況に応じて地域と連携しながら改善を行います。	―
学社民の融合による地域の担い手育成事業 （中央公民館）	地域への愛着と貢献意識を育てるため、地域や学校と連携し多世代交流の場と地域課題の学びを組み合わせた講座を実施することで、シビックプライドを醸成します。	―

図書館と教育機関・企業との連携協力事業 （中央図書館）	児童生徒の地域における学び・体験活動の充実及び地域住民の多様な興味関心に基づく学習機会等を提供するため、教育・社会福祉施設、地域活動団体や民間店舗等を含む団体へ図書を貸し出します。	―
★地域探究・体験事業 （学校支援課） 【重複事業】	児童生徒の探究的な学習の推進に向けて、学校が地域の歴史と現在、未来について地域の有識者や、企業、団体と協力しながら、体験的な授業が行えるよう支援を行います。	5
こども体験活動・ボランティア活動推進事業 （中央公民館）	異学校異学年の児童・生徒、地域の大人たちと交流し、地域の伝統文化に触れたり、工作等のものづくりを体験したりすることで、社会性・協調性を向上させるほか、こどもたちの地域の人たちへの愛着形成の促進を図ります。主に土日や夏休み等の休業期間を中心に講座等を実施します。	―

基本施策 10　郷土の歴史・文化に親しむ教育の推進

●本市の未来を担う児童生徒が、自分たちの住む郷土新潟市を広く知り、愛着をもてるよう、学校教育活動と社会教育活動の連携・協働を図り、地域の魅力や課題を知る学習を推進します。
●地域と連携しながら、児童生徒が地域の歴史、伝統文化を体感できる活動を創出するとともに、郷土の歴史・文化に関する資料を収集し、広く市民に提供します。
●市内の各地域がもつ文化資源や、優れた音楽、芸術などに触れることを通して、郷土の歴史・文化に親しむ心を育みます。
●本市の農業のすばらしさに気付き、郷土新潟市への誇りや愛着、生きる力を培うとともに、豊かな食の恵みに感謝し、いのちや人の絆を大切にする心を育みます。

◇ 施策指標

施策指標 （◆関連指標：市長部局で設定している指標）	現状値 (2023)	2025	2026	2027	2028	2032
自分が住んでいるまち（地域）が好きですと回答した児童生徒の割合	現状値なし	80.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	小６ 90.0% 中３ 90.0%
地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合	小６ 77.8% 中３ 72.3%	小６ 78.0% 中３ 72.5%	小６ 78.5% 中３ 73.0%	小６ 79.0% 中３ 73.5%	小６ 79.5% 中３ 74.0%	小６ 82.0% 中３ 76.0%
◆新潟市に住み続けたい市民の割合	88.9%	―	90.0%	―	―	（※１）
◆新潟市の農水産物などに対して誇りや愛着を持つ市民の割合	88.5%	―	90.0%	―	―	（※２）

※１新潟市総合計画 2030 において、最終目標（2030）は、「90.0%」と設定されている。
※２新潟市総合計画 2030 において、最終目標（2030）は、「90.0%」と設定されている。

◇ 取組指標

No.	取組指標	現状値 (2023)	2025	2026	2027	2028
1	地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合	小６ 77.8% 中３ 72.3%	小６ 78.0% 中３ 72.5%	小６ 78.5% 中３ 73.0%	小６ 79.0% 中３ 73.5%	小６ 79.5% 中３ 74.0%
2	「アグリ・スタディ・プログラムを体験し、本市の農業への誇りが醸成されたか」に肯定的に回答した小中学生の割合	95.3%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%

◇ 主な事業

事業名 （担当課）	概要	関連指標
★地域探究・体験事業 （学校支援課） 【重複事業】	児童生徒の探究的な学習の推進に向けて、学校が地域の歴史と現在、未来について地域の有識者や、企業、団体と協力しながら、体験的な授業が行えるよう支援を行います。	1
郷土資料の収集・活用事業 （中央図書館）	市民が郷土に関する伝統・歴史・文化・風土などを知り、地域の課題解決に役立てることができるよう、それぞれの地域固有の資料を幅広く収集、整理、活用します。	―
優れた音楽・芸術に触れる機会の提供事業 （学校支援課）	豊かな心を育むため、優れた音楽や文化・芸術に触れ、体験できる機会を児童生徒に提供します。	―
★「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進事業 （学校支援課） 【重複事業】	確かな学力の向上を図るとともに、本市が誇る農業や食に関する理解を深め、ふるさと新潟への愛情や誇りを育むために、学習指導要領の内容に基づいて学習と農業体験とを結びつけた農業体験学習プログラム「アグリ・スタディ・プログラム」を推進します。	2

基本施策 11　家庭教育の充実と子育て支援の充実

●家庭の教育力の向上に向け、学校と家庭及び地域と家庭の連携を推進します。
●子育て中の保護者が安心して子育てをできるよう、家庭教育に関する学習の機会や悩みを共有できる仲間づくりの支援などの充実を図ります。
●乳幼児期からの家庭での読書習慣を形成するために、図書館と保育施設などが連携し、発達段階に応じた効果的な取組を進めます。

◇ 施策指標

施策指標 （◆関連指標：市長部局で設定している指標）	現状値 (2023)	2025	2026	2027	2028	2032
家庭教育に関する講座等で「今後に生かすことができる」と回答した参加者の割合	91.2% （※1）	92.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	100.0%
家庭で読み聞かせをしていると回答した保護者の割合	78.8%	87.0%	―	88.0%	―	90.0%
こどもの頑張りを認める姿勢を大切にしながら、こどものよいところを見つけて、ほめていると回答した保護者の割合	現状値なし	90.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	100.0%
◆新潟市は子育てしやすいまちだと思う保護者の割合	70.0%	―	77.0%	―	―	（※2）

※1 従来は、「家庭教育に関する講座」でのアンケートであったが、今後は「家庭教育に関する講座等」とするため参考値としている。
※2 新潟市総合計画 2030 において、最終目標（2030）は、「80.0%」と設定されている。

◇ 取組指標

No.	取組指標	現状値 (2023)	2025	2026	2027	2028
1	子育て学習出前講座保護者向けアンケートで講座の満足度が「大変良かった」「良かった」の割合	83.5%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	86.0%
2	「こどもが通っている園（幼稚園、保育園、こども園）の教育（保育）に満足している」と肯定的に回答した保護者の割合	現状値なし	70.0%	前年度以上	前年度以上	80.0%
3	家庭で読み聞かせをしていると回答した保護者の割合	78.8%	87.0%	－	88.0%	－

◇ 主な事業

事業名 （担当課）	概要	関連指標
★家庭教育振興事業 （中央公民館）	こどもの健全な成長を願う保護者を支援するため、子育て各期に応じた家庭教育関連講座・子育て学習出前講座等を実施します。また、子育てに関する情報提供や、講座の受講者同士の意見交換や交流等を通じて、子育てにおける意識啓発、不安感・負担感軽減を図るとともに、保護者の家庭教育力の向上に取り組みます。 子育てサロンを開設し、地域で孤立しがちな乳幼児の保護者が仲間づくりや交流できる場を提供します。また、ボランティアスタッフの参加を促進し、地域全体で子育てを支える環境を整えます。	1
適切な就学のための相談・連携支援事業 （特別支援教育課） 【重複事業】	適切な就学のための相談会の充実と、入学支援ファイルの活用推進を図ります。保護者のニーズを丁寧に聴き取り、学校・関係機関等とニーズに沿った支援ができるよう、情報共有・連携を図ります。	―
★幼児教育推進体制事業 （教育総務課）	本市の幼児教育の質の向上のため、市立幼稚園が幼児教育のセンター的役割を担うことができるよう、教育の方法や家庭、関係機関との連携について研究を進めます。また、保育園やこども園など他の幼児教育・保育施設や小学校との連携や、保護者のニーズに応じた環境整備を進め、幼児教育の重要性を市民に伝える啓発活動に取り組みます。	2
★ブックスタート事業 （中央図書館）	乳幼児期からの読書習慣の形成を目指して、１歳誕生歯科健診で、親子一組ずつに絵本を１冊手渡して読み聞かせを行い、絵本を通した親子のふれあいや読み聞かせの意義など、その大切さを保護者に伝えます。	3
こどもの読書環境整備事業 （中央図書館、幼保支援課）	こどもが読書習慣をつけるために、「おはなしのじかん」や「赤ちゃんタイム」等こどもまたは親子を対象とした事業の実施や、ブックリストの発行などを行い、こどもの読書環境整備を進めます。また、保育施設等と図書館が連携し、保護者、職員を対象とした絵本の読み聞かせ講座や研修を実施し、読書環境の充実を図ります。	―

基本方針Ⅳ
多様な学びを支える教育環境の整備・充実

基本施策 12　安心・安全で質の高い教育環境の整備・充実

●経済的理由により就学の機会が失われることがないよう、教育機会の確保に向けた取組を行います。
●市民一人一人や家庭、地域の状況に応じた学びの場づくりなどの取組や、学びに向かう土台となる教育環境の整備・充実を図ります。
●地域クラブ活動については、生徒の望ましい成長を促進できるよう、地域においてスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保とその環境の整備・充実を図ります。

◇ 施策指標

施策指標	現状値(2023)	2025	2026	2027	2028	2032
学校は安全で、安心して過ごしやすい環境であると回答した児童生徒の割合	現状値なし	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
教育を受ける環境（学校以外も含む）が充実していると回答した保護者の割合	現状値なし	60.0%	前年度以上	前年度以上	70.0%	80.0%

◇ 取組指標

No.	取組指標	現状値(2023)	2025	2026	2027	2028
1	配慮を要する幼児児童生徒等への個別の教育支援計画作成率	69.5%	85.0%	90.0%	前年度以上	95.0%
2	退職教員を配置したサポート実施校への事後アンケートで、児童の支援や教職員の働き方改革に寄与したと回答した学校の割合	現状値なし	80.0%	85.0%	88.0%	90.0%
3	こども見守り隊の参加者数の割合	9.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	前年度以上
4	「こどもが通っている園（幼稚園、保育園、こども園）の教育（保育）に満足している」と肯定的に回答した保護者の割合	現状値なし	70.0%	前年度以上	前年度以上	80.0%
5	公立夜間中学の開校に向けた基本構想・基本計画等の策定や教育課程の編成及び開校後の運営	現状値なし	基本構想策定	開校に向けた準備及び開校	開校に向けた準備及び開校	開校に向けた準備及び開校
6	地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがあると回答した生徒の割合	中3 80.7%	中3 82.0%	中3 83.0%	中3 84.0%	中3 85.0%

◇ 主な事業

事業名 （担当課）	概要	関連指標
就学援助事業 （学務課）	義務教育における教育の機会均等を図るため、経済的理由により就学困難なこどもの保護者へ学用品費などに係る経費を助成します。また、支援を必要とする人が確実に制度を利用できるよう、適切な周知方法を検討します。	―
新潟市奨学金貸付事業 （学務課）	高等教育における教育の機会均等を図るため、大学等への修学のために経済的支援が必要な生徒、学生へ奨学金の無利子貸付を行います。また、返還の不安を解消することで、在学中も安心して勉学に励めるよう、一定の条件に該当する奨学生には返還金の一部を免除します。	―
★個別の教育支援サポート事業 （特別支援教育課） 【重複事業】	特別な支援が必要なこどもが就学前から社会参加まで、切れ目なく支援を受けられる体制整備のため、個別の教育支援計画が進むよう、作成支援システムの活用を推進します。 担任や養護教諭が不在時の学校や特別な教育的支援を必要とする児童が在籍する学級（通常・特別支援）へ退職教員を配置し、個別の教育支援計画に沿った質の高い支援を行います。	1,2
★地域見守り活動支援事業 （学校支援課） 【重複事業】	こどもの登下校の安心安全のため、小学校区毎に、見守りを目的としたボランティア組織「こども見守り隊」を設置し、時間や場所を明確にした見守り活動を行います。また、定期的に地域の危険な箇所を点検、確認するため、各小学校での登下校時における防犯対策に関する「地域の連携の場」の開催を支援します。	3
★幼児教育推進体制事業 （教育総務課） 【重複事業】	本市の幼児教育の質の向上のため、市立幼稚園が幼児教育のセンター的役割を担うことができるよう、教育の方法や家庭、関係機関との連携について研究を進めます。また、保育園やこども園など他の幼児教育・保育施設や小学校との連携や、保護者のニーズに応じた環境整備を進め、幼児教育の重要性を市民に伝える啓発活動に取り組みます。	4
学校適正配置事業 （教育総務課）	望ましい学校規模などについて、地域へ情報提供を行い、公平で良好な教育環境について理解促進を図ります。 児童生徒が多様な考え方に触れ、豊かな心や集団性・社会性を育み、互いにかかわり合い、コミュニケーションを通した学びにより資質・能力を育むことができるように、望ましい学校規模の実現に向けて地域との協議を進めます。	―

★夜間中学設置事業 （教育総務課） 【重複事業】	夜間中学を設置することにより、様々な理由によって、学齢期に十分な教育を受けられなかった方々に教育を受ける機会を提供することで、教育の機会均等を図るとともに、社会的包摂の実現や、生涯学習の促進を目指します。	5
学校施設整備事業 （施設課）	児童生徒の安全で快適な学校生活のために、学校の統合や児童生徒数の急増等に対応した施設整備を行うとともに、老朽化した校舎の大規模改造、トイレの洋式化や多目的トイレの設置を行うなど、教育環境の改善を図ります。	―
情報発信事業 （教育総務課）	全市的な教育情報を広報するとともに、学校教育や社会教育における特色のある活動を紹介し、教育について市民へ周知、理解に努めます。また、各課、所属がSNS や紙媒体で行っている広報について集約、調整を図ります。	―
★地域クラブ活動推進事業 （学校支援課） 【重複事業】	中学生が地域で、スポーツや文化活動に親しめるよう環境整備を、学校地域市民と協力しながら整備します。	6

基本施策 13　教育 DX の推進と ICT 環境の整備・充実

●児童生徒が、学びのコミュニケーションツールとして ICT 機器を活用できるよう、状況に応じた環境の整備や教職員研修の充実を図ります。さらに、デジタルシティズンシップ教育を推進します。
●効率的・効果的な業務を行えるよう、ICT 機器を活用した校務支援の整備・充実を図ります。
●ICT 機器を活用し、学校と図書館、公民館など様々な関係施設と連携を図ります。
●図書館においては、非来館型の読書サービスである電子書籍の提供やオンラインでの利用申請などデジタル技術を活用したサービスの充実を図ります。

◇ 施策指標

施策指標	現状値(2023)	2025	2026	2027	2028	2032
学校生活において、PC・タブレットなどの ICT 機器を自ら活用して調べたり、自分の考えをまとめたりしていると回答した児童生徒の割合	現状値なし	小６ 90.0% 中３ 90.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	小６ 90.0%以上 中３ 90.0%以上
ICT を活用した授業づくりを実践していると回答した教職員の割合	現状値なし	93.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	95.0%

◇ 取組指標

No.	取組指標	現状値(2023)	2025	2026	2027	2028
1	学校生活において、PC・タブレットなどの ICT 機器を自ら活用して調べたり、自分の考えをまとめたりしていると回答した児童生徒の割合	現状値なし	小６ 90.0% 中３ 90.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上
2	ICT を活用した授業づくりを実践していると回答した教職員の割合	現状値なし	93.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上

◇ 主な事業

事業名 （担当課）	概要	関連 指標
★教育 DX 環境整備事業 （学校支援課）	児童生徒や教職員が ICT をより一層活用できるよう、端末の整備やシステムの構築、人的支援体制の構築を図ります。	1
次世代の校務 DX 環境整備事業 （教育総務課）	校務の効率化による負担軽減や教職員が柔軟な働き方ができるよう、校務支援システムの環境整備を図ります。	―
★教育 DX 人材育成事業 （学校支援課）	情報活用能力の育成や ICT 端末を活用した効果的な学習、情報モラルの育成のために、教職員に対して、ICT 活用に関する情報提供や資料提示、研修の充実を図ります。	2
デジタルを活用した図書館サービス推進事業 （中央図書館）	市民が図書館を活用しやすくなるよう、図書館システムを運用するとともに、非来館型の読書サービスである電子書籍の提供やオンラインでの利用申請等、デジタル技術を活用したサービスの充実を図ります。	―

基本施策 14　職員・教員の資質・能力の向上と支援体制の充実

●教育関係職員が効果的に専門性を向上できる支援体制を整えるとともに、それぞれのよさを十分に発揮できる支援体制の充実を図ります。
●全ての教職員がいきいきとこどもたちと向き合うため、学校園、教育委員会、保護者、地域が一体となった教職員の働き方改革を推進します。
●教職員の心身の健康の保持増進への支援の充実を図ります。

◇ 施策指標

施策指標	現状値(2023)	2025	2026	2027	2028	2032
主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善に取り組んでいると回答した教職員の割合	現状値なし	90.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	100.0%
充実して仕事に取り組めていると回答した教職員の割合	現状値なし	80.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	85.0%

◇ 取組指標

No.	取組指標	現状値(2023)	2025	2026	2027	2028
1	教職員研修の講師として招聘した大学教員の数	37 人	45 人	45 人	47 人	47 人
2	「前年度までに、授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか」に肯定的に回答した学校の割合	小学校 89.7% 中学校 84.5%	小学校 91.0% 中学校 86.0%	小学校 91.0% 中学校 86.0%	小学校 92.0% 中学校 87.0%	小学校 92.0% 中学校 87.0%
3	充実して仕事に取り組めていると回答した教職員の割合	現状値なし	80.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上
4	各研修講座における参加者の満足度	82.8%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
5	各研修講座アンケートで「今後にいかすことができる」と回答した参加者の割合	89.4%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%

◇ 主な事業

事業名 （担当課）	概要	関連指標
★教職員研修における大学との連携事業 （総合教育センター）	教職員の資質・能力の向上のため、各種教職員研修に大学の教員を招聘し、最新の知見をいかした質の高い研修を行います。	1
★「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善事業 （学校支援課） 【重複事業】	「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」により「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善を推進するため、方向性の提示や研修の企画、実践例の紹介などの支援を行います。 また、自ら学ぶ家庭学習習慣の定着のため、指導事例やツールの効果的な活用方法の紹介などの支援を行います。	2
★多忙化解消対策推進事業 （学校人事課）	魅力ある教職員を育成し、質の高い教育活動を行うため、職場改革や教職員の意識改革など、学校園と教育委員会、保護者、地域が一体となって教職員の長時間勤務の縮減を推進します。 教職員が本来業務に専念できることを目的として、長時間勤務の削減を図ります。	3
特別支援教育推進のための学校園体制支援事業 （特別支援教育課） 【重複事業】	各学校園での一層の特別支援教育の推進と校園内体制強化のため、キャリアステージごとの研修の充実を図ります。	―
人権教育におけるリテラシー向上事業 （生涯学習推進課） 【重複事業】	職員一人一人が人権問題や同和問題に関心をもち、理解と認識を深め、市民のよき相談相手役・パートナーとしての資質を高めるため、研修会を実施するなど行政職員（市長部局・教育委員会含む）や学校教職員の人権意識の向上に向けた取組を推進します。	―
★教育関係職員の研修プログラム事業 （総合教育センター）	教職員の資質向上に関する指標に基づいて資質、指導力の向上を目指し、教育の動向や学校現場のニーズ、それぞれの職員のキャリアステージに応じた研修体系を構築します。また、新潟市マイスターを活用して研修の一層の充実を図ります。	4,5

Ⅶ　資料

1　用語集

	語句	解説
あ	ICT	Information and Communication Technology の略で、情報の伝達や情報処理に関する技術を総称的に表す語。
あ	アグリ・スタディ・プログラム	学習指導要領の内容に基づいて学習と農業体験を結び付けた本市独自の農業体験学習プログラム。 「新潟市アグリパーク」、「いくとぴあ食花」、近隣農家、学校教育田、学校教材園などの教育ファームで展開する。 こどもたちが五感を通して学び、体験と知識を結び付けて学習課題を解決し、まとめていくことにより、実感を伴った確かな学びを実現するもの。
い	インクルーシブ教育システム Inclusion in education	共生社会の形成に向けて、障がいのあるこどもと障がいのないこどもがともに学ぶ仕組みであり、自己の生活する地域において初等中等教育の機会が与えられ、個人に必要な「合理的配慮」が提供されること。
う	ウェルビーイング	身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福や、個人だけでなく個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念のこと。
が	学校運営協議会	保護者や地域住民などが一定の権限と責任をもって学校運営に参加することで、育てたいこども像、目指すべき教育のビジョンを共有し、目標の実現に向けて協働する仕組み。学校運営協議会を設置した学校をコミュニティ・スクールと呼ぶ。
が	学校・学級の支持的風土	認め合い、助け合い、期待をかけ合い、高め合う温かい学校・学級の風土。

が	学校支援ボランティア 学習支援ボランティア	学校における教育活動、課外活動などを支援する保護者や地域住民などのこと。 特に、授業において個々のこどもの学習を支援する学生ボランティアを「学習支援ボランティア」と呼んでいる。
が	学・社・民の融合による教育	「学」は学校、「社」は公民館や図書館などの社会教育施設、「民」は地域住民、家庭、地域の団体や企業。それぞれが役割を果たし、一体となって推進する教育。
か	カリキュラム	一定の教育の目的に合わせて、考え出された教育内容とその決まった修業年限の間での教育と学習を総合的に計画したものをいう。一般に小学校から大学に至るまでの、各学年での時間割として知られるものも、カリキュラムの一部である。これは狭義のもので、教育課程とほぼ同じである。
ぎ	GIGA スクール構想	児童生徒向けの１人１台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現する構想。
き	キャリア教育	一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育。
き	キャリア・ノート	児童生徒が、教育活動や日常生活における見通しや振り返りを記述して蓄積していくポートフォリオ的な教材。
き	キャリア・パスポート	キャリア・ノート３年間の記述から抜粋して転記するもので、小学校下学年（１～３年生）用、小学校上学年（４～６年生）用、中学校用、高等学校用があり、校種を超えて 12 年間引き継いで活用する教材。
き	キャリア発達	社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程のこと。

き	教育課程	学習指導要領などに基づき、各教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間などについて、学校教育の目的や目標を達成するために、教育内容をこどもの心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した各学校の教育計画。
き	教育関係職員と教職員	新潟市教育振興基本計画において、教育関係職員とは、学校や教育委員会事務局に勤務する新潟市の職員を指す。また、教職員は学校に勤務する新潟市の職員を指し、教育関係職員に含まれる。
き	共生社会	障がいのある人などの人格及び人権が尊重され、社会的障壁のないともに生きる社会。
ご	合理的配慮	学校教育においては、障がいのあるこどもが他のこどもと平等に教育を受けることを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うこと。そのニーズに応じて個別に必要とされるものであり、体制面、財政面において均衡を失した又は過度の負担を課さないもの。
こ	こどもふれあいスクール	学校施設を地域に開放して、安心・安全な居場所を提供し、こどもと地域の大人がふれあうことにより、心豊かなこどもたちを育むとともに、地域の教育力の向上を図ろうとする事業。
こ	コミュニティ・スクール	学校運営協議会を設置した学校。
じ	持続可能な開発目標（SDGs） Sustainable Development Goals	2015 年９月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」で記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標。政府は、SDGs に関する８つの優先課題を挙げており、その①「あらゆる人々の躍進の推進」では、「こどもの貧困対策」や「次世代の教育振興」の取組が盛り込まれている。

じ	循環型生涯学習	自ら学んだ成果を地域でいかし、学びを継承していくことで、新たなつながりを広げ、地域課題の解決や地域の活性化を推し進める人材の育成（活動の場の支援）を進めること。
し	市長部局	保健福祉や都市整備など市長の権限で事務を行う市役所の担当組織をいう。条例の制定や予算の議決など自治体の意思決定を行う議会や、特定の事務について市長から一定の独立した権限をもつ教育委員会などの行政委員会及び水道局などの公営企業を除く。
し	社会教育施設	人々の学習活動の拠点となる施設であり、公民館をはじめ、図書館、博物館、青少年教育施設などがある。
し	社会的包摂 social inclusion ソーシャル・インクルージョン	全ての人々が社会に参画する機会を持ち、ともに生きていくことを意味する。高齢者や障がい者、外国人や失業者など、社会的に弱い立場と言われる人々を排除するのではなく、社会の一員として包み支え合うという理念。
し	小中一貫教育	中学校区ごとに目指すこどもの姿を設定し、９年間（小学校６年間及び中学校３年間）の指導を通して、その姿を実現すること。
し	生涯学習ボランティア	自らの学習で培った知識や経験を地域活動や教育活動にいかしている人。
し	食育	様々な経験を通じて食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。
せ	性的指向及びジェンダーアイデンティティ	性的指向は、恋愛感情又は性的感情の対象となる性別についての指向。 ジェンダーアイデンティティは、自己の属する性別についての認識に関するその同一性の有無又は程度に係る意識。

そ	Society5.0 ソサエティ・ゴー・テン・ゼロ	日本が目指すべき未来社会の姿として、2016年に閣議決定された「第５期科学技術基本計画」において内閣府が提唱した概念。「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会」を意図している。人類の社会は狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）と進化・発展し、これに続く新たな社会の姿と位置付けられている。
ち	地域教育コーディネーター	学校と地域活動や社会教育施設の間の調整役となり、地域の人材を発掘したり、学校を核とした地域ぐるみの教育活動を企画・運営したりするなどの役割を担う職員。
ち	地域と学校パートナーシップ事業	学校教育活動のさらなる充実を図るとともに、豊かなコミュニティづくりのため、地域に開かれ、地域とともに歩むことができるように、学校と社会教育施設、地域との様々な活動を結ぶネットワークづくりや協働事業などを推進し、学・社・民の融合による教育を進めることを目的とした事業。
で	DX Digital Transformation デジタルトランスフォーメーション	「trans」を英語圏では「X」と表記することがあるため、「DX」と略される。日本語では「デジタル変革」とも訳される。デジタル技術を使って人手のかかっていたサービスを自動化したり作業を効率化したりするのが「デジタル化」だとすると、DX はデジタル技術やデータを駆使して作業の一部にとどまらず社会や暮らし全体がより便利になるよう大胆に変革していく取組を指す。
で	デジタルシティズンシップ教育	デジタルシティズンシップとは、デジタル技術の利用を通じて、社会に積極的に関与し、参加する能力のこと。
と	特別支援教育	障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けて、一人一人の教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行うこと。

ふ	深い学び	習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科などの特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えをもとに創造したりすることに向かう学び。
ま	学びの循環	生涯学習で一人一人の興味・関心を深め、そこで培った能力や知識・経験をいかしてボランティア活動や社会活動などに取り組み、それらを通してさらに学びを深めるために新たな学習活動に進むなど、学習成果をさらなる活動にいかすこと。

【用語集出典について（引用・参考）】
- 第４期教育振興基本計画
- 「新潟市教育ビジョン　第４期実施計画」

2　取組指標一覧

基本方針	基本施策	取組指標	現状値（2023）	2025	2026	2027	目標値（2028）	調査データ元・方法
Ⅰ	1	生涯学習ボランティアバンク登録件数	126件	130件	135件	140件	145件	新潟市生涯学習ボランティアバンク登録者
		「前年度までに、授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか」に肯定的に回答した学校の割合	小学校　89.7% 中学校　84.5%	小学校　91.0% 中学校　86.0%	小学校　91.0% 中学校　86.0%	小学校　92.0% 中学校　87.0%	小学校　92.0% 中学校　87.0%	全国学力・学習状況調査
		地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合	小6　77.8% 中3　72.3%	小6　78.0% 中3　72.5%	小6　78.5% 中3　73.0%	小6　79.0% 中3　73.5%	小6　79.5% 中3　74.0%	新潟市生活・学習意識調査
		新潟市立図書館に利用登録している市民の割合	14.2%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	14.5%	図書館サービス指標（図書館統計調査）
	2	「前年度までに、授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか」に肯定的に回答した学校の割合	小学校　89.7% 中学校　84.5%	小学校　91.0% 中学校　86.0%	小学校　91.0% 中学校　86.0%	小学校　92.0% 中学校　87.0%	小学校　92.0% 中学校　87.0%	全国学力・学習状況調査
		「市教委が情報提供する授業改善のポイントや好取組を踏まえ、自校において授業を改善しているか」に肯定的に回答した学校の割合	現状値なし	アンケート実施 指標設定	90.0%を 上回る	90.0%を 上回る	100.0%	学校園教育・実践状況調査
		外部と連携した学習・授業支援事業は、「児童生徒の基礎・基本の定着に向けた支援体制の整備・充実に効果的であった」に肯定的に回答した学校の割合	現状値なし	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	新潟市の学校園教育 実践状況調査【新規】
		「アグリ・スタディ・プログラムを体験し、本市の農業への誇りが醸成されたか」に肯定的に回答した小中学生の割合	95.3%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	アグリパークでアグリ・スタディ・プログラムを行った児童生徒へのアンケート調査
		中学校３年生のCEFR A1レベル（英検３級）以上の英語力を有する生徒の割合	36.2%	47.0%	47.0%	50.0%	50.0%	英語教育実施状況調査
	3	将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合	小6　80.7% 中3　64.7%	小6　83.0% 中3　71.0%	小6　84.0% 中3　72.0%	小6　85.0% 中3　73.0%	小6　86.0% 中3　74.0%	全国学力学習状況調査
		地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合	小6　77.8% 中3　72.3%	小6　78.0% 中3　72.5%	小6　78.5% 中3　73.0%	小6　79.0% 中3　73.5%	小6　79.5% 中3　74.0%	新潟市生活・学習意識調査
		市立高等学校等における地域連携教育活動に参加した生徒数（延べ人数）	2217人	前年度以上	前年度以上	前年度以上	前年度以上	高等学校等への調査
		総合的な学習（探究）の時間の中で、自分で課題を立てて情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると回答した児童生徒の割合	小6　80.8% 中3　87.4%	小6　81.0% 中3　88.0%	小6　81.0% 中3　88.0%	小6　83.0% 中3　89.0%	小6　83.0% 中3　89.0%	新潟市生活・学習意識調査【新規】
	4	１週間の総運動時間（体育授業除く）が６０分未満の児童生徒の割合の減少	小5男子 10.4% 小5女子 18.2% 中2男子 10.0% 中2女子 23.8%	現状値より減少	前年割合より 減少	前年割合より 減少	前年割合より 減少	全国体力・運動能力、運動習慣等調査
		「朝食を食べています」で「ほぼ毎日」と回答をした児童生徒（小6、中3）の割合	小6　89.3% 中3　86.2%	小6　前年度以上 中3　前年度以上	小6　前年度以上 中3　前年度以上	小6　前年度以上 中3　前年度以上	小6　100.0% 中3　100.0%	新潟市生活・学習実態調査
		「学校給食の時間が、児童生徒にとって安心して食事ができる時間となっているか」の問いに肯定的に回答した学校の割合	現状値なし	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	学校園教育・実践状況調査
Ⅱ	5	学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したりしていると回答した児童生徒の割合	小学校　85.5% 中学校　88.1%	小学校　86.0% 中学校　88.5%	小学校　86.5% 中学校　89.0%	小学校　87.0% 中学校　89.5%	小学校　87.5% 中学校　90.0%	新潟市生活・学習意識調査
		いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うと回答した児童生徒の割合	小学校　85.9% 中学校　83.7%	小学校　87.5% 中学校　85.0%	小学校　88.0% 中学校　85.5%	小学校　88.5% 中学校　86.0%	小学校　89.0% 中学校　86.5%	新潟市生活・学習意識調査
		いじめ解消率	77.3%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	前年度以上	文部科学省　児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査
	6	日本語指導を受けた幼児児童生徒の日本語能力について、向上したと回答した学校の割合	82.4%	87.0%	90.0%	93.0%	95.0%	日本語指導協力者派遣状況調査
		公立夜間中学の開校に向けた基本構想・基本計画等の策定や教育課程の編成及び開校後の運営	現状値なし	基本構想策定	開校に向けた 準備及び開校	開校に向けた 準備及び開校	開校に向けた 準備及び開校	
		学校内外の機関等から相談・指導等を受けた、または受けている不登校児童生徒の割合	小学校 94.9% 中学校 86.1%	小学校 100.0% 中学校 100.0%	小学校 100.0% 中学校 100.0%	小学校 100.0% 中学校 100.0%	小学校 100.0% 中学校 100.0%	各小中学校からの毎月の不登校児童生徒報告シート内の未確認児童生徒報告より
		配慮を要する幼児児童生徒等への個別の教育支援計画作成率	69.5%	85.0%	90.0%	前年度以上	95.0%	通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査
		退職教員を配置したサポート実施校への事後アンケートで、児童の支援や教職員の働き方改革に寄与したと回答した学校の割合	現状値なし	80.0%	85.0%	88.0%	90.0%	【新規】
		発達障がい通級指導教室を利用する児童生徒の中で、自校で通級による指導を受けることのできる児童生徒の割合（巡回指導を含む）	35.0%	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	通級指導教室利用児童生徒名簿に記載の児童生徒数
	7	新潟市サマーイベント（イングリッシュ・デイ、高志サマーセミナー、万代高校BASS）に参加した児童生徒の満足度	98.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	参加者アンケート
		「英語担当教員とALTとの間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができているか」に肯定的に回答した中学校の割合	96.6%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	前年度以上	【新規】
		中学校３年生のCEFR A1レベル（英検３級）以上の英語力を有する生徒の割合	36.2%	47.0%	47.0%	50.0%	50.0%	英語教育実施状況調査
	8	自分や周りの人たちの個性や違いを認めたり、大切にしたりしながら生活していると回答した児童生徒の割合	現状値なし	前年度以上	前年度以上	前年度以上	小6　84.0% 中3　84.0%	新潟市学習生活意識調査
		「道徳の授業では、自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」に肯定的に回答した児童生徒の割合	小6　90.1% 中3　90.8%	小6　91.0% 中3　91.0%	小6　91.0% 中3　91.0%	小6　92.0% 中3　92.0%	小6　92.0% 中3　92.0%	全国学力・学習状況調査

基本方針	基本施策	取組指標	現状値（2023）	2025	2026	2027	目標値（2028）	調査データ元・方法
Ⅲ	9	コミュニティ・スクールと地域と学校パートナーシップ事業の一体的推進が実現していると回答した学校運営協議会の割合	現状値なし	前年度以上	前年度以上	前年度以上	100.0%	学校運営協議会に対し実施するアンケート
		こどもふれあいスクールのねらいを意識した運営をしていると回答した運営主任の割合	現状値なし	前年度以上	前年度以上	前年度以上	100.0%	子どもふれあいスクールの運営主任に対し実施するアンケート
		地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがあると回答した児童生徒の割合	中3　80.7%	中3　82.0%	中3　83.0%	中3　84.0%	中3　85.0%	新潟市生活・学習意識調査
		こども見守り隊の参加者数の割合	9.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	前年度以上	5月中に報告される見守り隊数 5月1日時点での児童数
		地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合	小6　77.8% 中3　72.3%	小6　78.0% 中3　72.5%	小6　78.5% 中3　73.0%	小6　79.0% 中3　73.5%	小6　79.5% 中3　74.0%	新潟市生活・学習意識調査
	10	地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きと回答した児童生徒の割合	小6　77.8% 中3　72.3%	小6　78.0% 中3　72.5%	小6　78.5% 中3　73.0%	小6　79.0% 中3　73.5%	小6　79.5% 中3　74.0%	新潟市生活・学習意識調査
		「アグリ・スタディ・プログラムを体験し、本市の農業への誇りが醸成されたか」に肯定的に回答した小中学生の割合	95.3%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	アグリパークでアグリ・スタディ・プログラムを行った児童生徒へのアンケート調査
	11	子育て学習出前講座保護者向けアンケートで講座の満足度が「大変良かった」「良かった」の割合	83.5%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	86.0%	子育て学習出前講座保護者向けアンケート
		「こどもが通っている園（幼稚園、保育園、こども園）の教育（保育）に満足している」と肯定的に回答した保護者の割合	現状値なし	70.0%	前年度以上	前年度以上	80.0%	対象園の保護者へのgoogle formを活用したアンケート調査
		家庭で読み聞かせをしていると回答した保護者の割合	78.8%	87.0%	－	88.0%	－	3歳児健診の場でのアンケート（隔年）
Ⅳ	12	配慮を要する幼児児童生徒等への個別の教育支援計画作成率	69.5%	85.0%	90.0%	前年度以上	95.0%	通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査
		退職教員を配置したサポート実施校への事後アンケートで、児童の支援や教職員の働き方改革に寄与したと回答した学校の割合	現状値なし	80.0%	85.0%	88.0%	90.0%	【新規】
		こども見守り隊の参加者数の割合	9.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	前年度以上	5月中に報告される見守り隊数 5月1日時点での児童数
		「こどもが通っている園（幼稚園、保育園、こども園）の教育（保育）に満足している」と肯定的に回答した保護者の割合	現状値なし	70.0%	前年度以上	前年度以上	80.0%	対象園の保護者へのgoogle formを活用したアンケート調査
		公立夜間中学の開校に向けた基本構想・基本計画等の策定や教育課程の編成及び開校後の運営	現状値なし	基本構想策定	開校に向けた準備及び開校	開校に向けた準備及び開校	開校に向けた準備及び開校	
		地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがあると回答した生徒の割合	中3　80.7%	中3　82.0%	中3　83.0%	中3　84.0%	中3　85.0%	新潟市生活・学習意識調査
	13	学校生活において、PC・タブレットなどのICT機器を自ら活用して調べたり、自分の考えをまとめたりしていると回答した児童生徒の割合	現状値なし	小6　90.0% 中3　90.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	新潟市生活・学習意識調査
		ＩＣＴを活用した授業づくりを実践していると回答した教職員の割合	現状値なし	93.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	学校における教育の情報化の実態等における調査
	14	教職員研修の講師として招聘した大学教員の数	37人	45人	45人	47人	47人	講座実績
		「前年度までに、授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたか」に肯定的に回答した学校の割合	小学校　89.7% 中学校　84.5%	小学校　91.0% 中学校　86.0%	小学校　91.0% 中学校　86.0%	小学校　92.0% 中学校　87.0%	小学校　92.0% 中学校　87.0%	全国学力・学習状況調査
		充実して仕事に取り組めていると回答した教職員の割合	現状値なし	80.0%	前年度以上	前年度以上	前年度以上	教職員へのアンケート
		各研修講座における参加者の満足度	82.8%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	研修後のアンケート記述
		各研修講座アンケートで「今後にいかすことができる」と回答した参加者の割合	89.4%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	研修後のアンケート記述

新潟市教育振興基本計画

～にいがた学びのコンパス～

（前期実施計画）

編集・発行　新潟市教育委員会事務局　教育総務課　教育政策室
〒951-8554　新潟市中央区古町通７番町 1010 番地
電話　025-226-3178
E-mail　somu.ed@city.niigata.lg.jp